昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和54年12月15日発行（毎月1回15日発行通巻第122号）

バドミントン

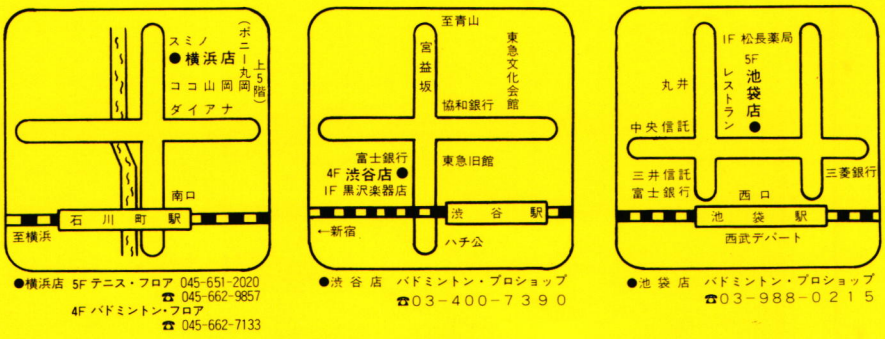
12

日本バドミントン協会　The Badminton World No.122 1979



四番打者、行けジョージ

11/16 吉祥寺店オープン



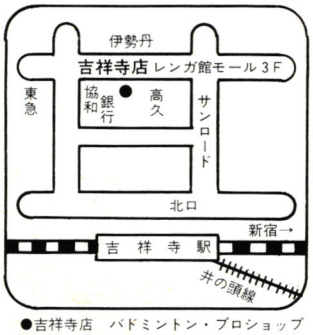
●横浜店 5F テニス・フロア 045-651-2020
☎ 045-662-9857
4F バドミントン・フロア
☎ 045-662-7133

●渋谷店 バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390

●池袋店 バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215

ラケットショップ元町





●吉祥寺店 バドミントン・プロショップ
☎0422-21-7890

バドミントン界 12

❷ 第1回世界オープン大会／山本洋彦 〝来年も開く〟に満場拍手!!	㉞ 特派員だより 沖縄県・泉健司
❻ 東海林、カナダ・オープンで大金星 徳田・高田組惜しくも準優勝	㊱ TOKYO LETTER
❽ 関東大学秋季リーグ戦 法大連覇、日体大は5シーズン連続	
⓰ 実業団の名門・北辰電機 創部20周年迎える	
㉔ 日本リーグ開幕まであと5日 〝われらかく戦う〟	
㉖ ランダース・オープン デルフス久々のタイトル	
㉚ われらのクラブ㉓花見川同好会 どんどん交流の輪を広げて	
㉜ バドミントンの用語ABC／後藤忠弘 A～Bの部	

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室
◇今月の表紙＝バドミントン競技の〝ヒノキ舞台〟国立競技場代々木第2体育館　撮影＝フオート・キシモト

第1回世界オープン・バドミントン大会

“来年も開く”に満場拍手!!

ロンドン・山本洋彦



満員の観衆でうまったロイヤル・アルバート・ホールのスタンド

イギリス協会は賭に勝ち、プラカシュは初の大イベントに勝った

イギリスは伝統行事の多い国である。ラストナイト・プロムというのもその一つ。コンサートの最後の夜(九月初め)、楽団と客席が一体となって、シーズンへの別れを告げ、そしてまた来たるべきシーズンへの再会を約す一夜である。

この夜ばかりは、コンサートを聞く時の礼儀を破ってよいという「伝統」があり、聴衆は色とりどりの帽子をかぶり、旗をなびかせ、ラッパを鳴らし、手拍子を打ち、足を踏み鳴らし、楽団とともに音楽を楽しむのである。

今年は会場のロイヤル・アルバート・ホールの前に、入場券を求める人の徹夜の行列が、最高13日間もつづいたというからすごい。

その楽団が大熱演をした席に私はすわり、そして熱狂して音楽を楽しんだ大観衆の代わりに、けんめいにシャトルを追うテルフスとスティーブンスのプレーを感慨をもって見ていた。

イギリス協会がこのオープン・バドミントンの話を具体化・公表したのは、79年3月に全英選手権が行なわれたウエンブレーでのこと。

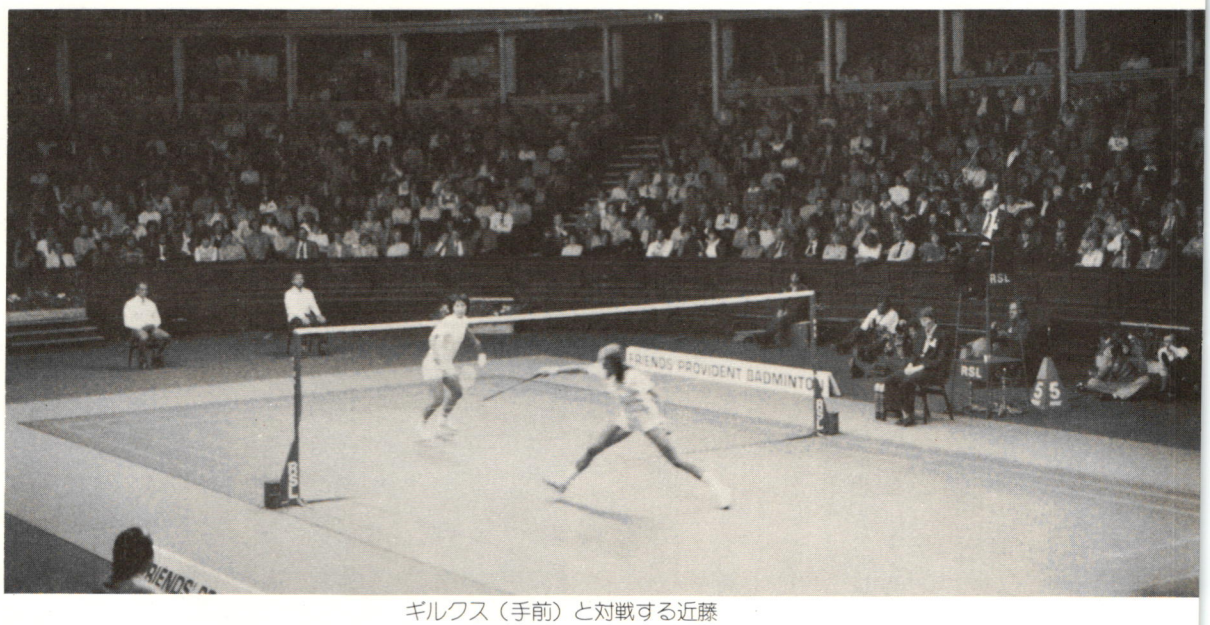
大会内容は〝ただ一点を除いて〟すべて明確になっていた。

その〝ただ一点〟とは、バドミントンのオープン化が5月にジャカルタで開かれるIBFの総会で可決されることであった。

イギリス協会は、出場選手、日程、会場、賞金、テレビ放映、スポンサー等すべてを3月の時点で設定し、5月のIBF総会での可決に賭けたのであった。

しかし、イギリス協会は十分な〝読み〟をし、オープン化可決という自信をもってこの大会を企画したといえよう。

そして、イギリス協会はこの賭に勝ち、バドミントン史上初の歴史的オープン・バドミントンは、総額2万700ポンド(約1050万円)の賞金をかけて、9月19日午後1時30分、ロンドン市内のロイヤル・アルバート・ホールで日本の近藤小織とイギリスのジェーン・ウエブスターのシングルスによって、



ギルクス（手前）と対戦する近藤

その幕が切って落とされたのであった。

大会は22日まで4日間にわたって行なわれ、ロイヤル・アルバート・ホールという素晴しい会場、地理の便も手伝って、連日多くのファンがつめかけ、イギリス協会をホッとさせた。

試合については本誌先月号を参照していただくとして、男子シングルスの賞金3000ポンド（約150万円）は、食い下がるデンマークのモルテン・フロスト・ハンセンを2－1でくだしたインドの星・プラカシュ・パデュコーンに、女子シングルスは、第1ゲームこそセッティングを演じたが、第2ゲームは軽くイギリスのギリアン・ギルクスを一蹴したデンマークのリーン・コーベンの手に同じく3000ポンドが贈られた。

男子ダブルスはスウェーデンのキールストロム・フローマン組に、女子ダブルスは徳田・米倉組の追撃をかわし――ベリー・ウェブスターの絶好調に助けられ――ベリー・ウェブスターの地元ペアがそれぞれ1500ポンド（ただしこれは一組についての額。したがって一人750ポンド）の賞金が贈られたのである。

とはいうものの、これらのうち実際に賞金を手にした選手は、イギリスのレイ・スティーブンス、マイク・トレジエット、ギリアン・ギルクス、ノラ・ペリー、ジェーン・ウェブスターの5人だけで、その他は全員アマチュア資格の関係で「所属協会に直接送金され、地元の新聞は、これではオープン・バドミントンではない」と書きたてていた。

日本からは読者の皆さんご承知のとおり、銭谷、湯木、近藤、徳田、米倉の5名が招待され、単複に善戦したが、徳田・米倉組が女子複で2位（賞金750ポンド）を獲得したのが最高で、総じてもう一歩というところであった。

最終日、表彰式の席上、スポンサーの保険会社からのあいさつの中で、来年も同じ時期に第2回大会を開くことを約束します、という発表があり、満場の拍手の中この大会は歴史的幕を閉じた。

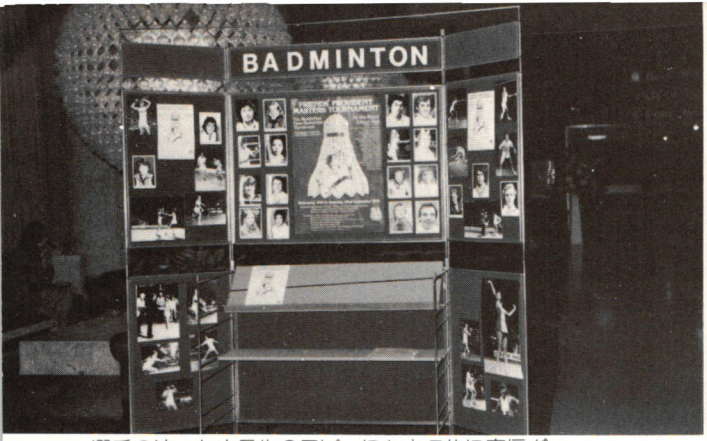
◆バドミントン・ワールド◆
◆カレンダー　1980◆
◆好評発売中◆

毎年おなじみのバドミントン・ワールド・カレンダーの1980年版が発行されました。

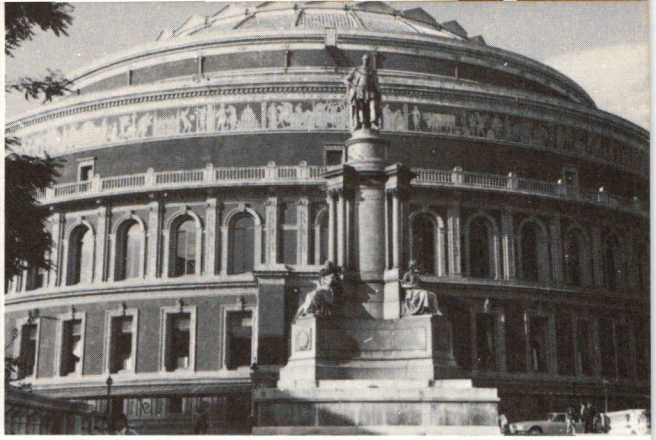
今年は壁にかけても、また机の上でも楽しめるA3判にしました。もちろんカラー印刷です。これからの日本を代表する5選手と、世界のトップ2選手を収録しました。

定価は900円で、送料は全国均一で次のとおりです。1部＝300円、3部まで400円、6部まで500円、10部まで600円、11部以上700円。

本誌巻末とじ込みの振替用紙に必要事項を明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。



選手の泊ったホテルのロビーにも大々的に宣伝が……

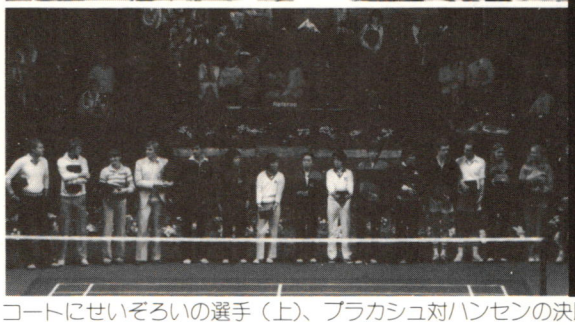


伝統美を誇るロイヤル・アルバート・ホールの外観

第1回世界オープン大会から

山本洋彦氏 撮影





コートにせいぞろいの選手（上）、ブラカシュ対ハンセンの決勝（下）

コーペン結婚♥

第1回オープン・バドミントンのプログラムに目を通した人は「おや」と思ったにちがいない。

リーン・ロプケなる〝新人〟が名を連ねていたから。

ご主人は彼女が79年全英選手権初優勝を果たしたとき、その影の力として本誌5月号にも紹介されたハンス・ロプケ氏である。

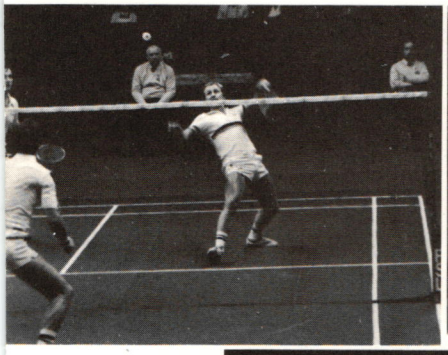
もちろん今回もご同伴で、全英に続く大タイトル獲得に両手に花といった感じ。

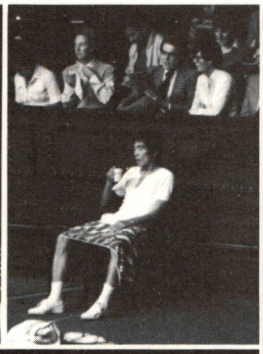
「ご結婚おめでとう」というと、「サンキュー」のことばのあとすぐに、

「結婚はしましたが、バドミントンの試合ではこれからも、すべてリーン・コーペンでとおしたい。日本の方々にも公式試合ではリーン・コーペンとするように伝えてください」

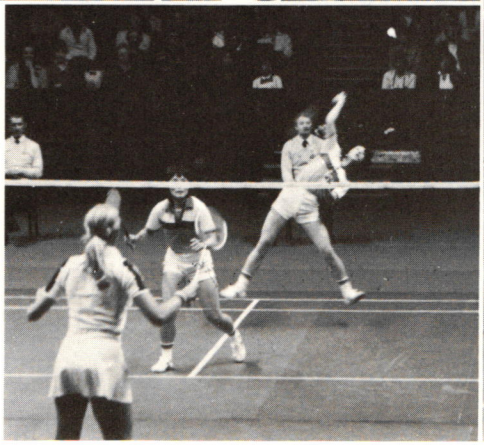
とのメッセージが返ってきた。

右の写真は、79年3月の全英選手権のディナー・パーティで、ご主人のハンス・ロプケ氏とメイン・テーブルにすわるリーン・コーペン。





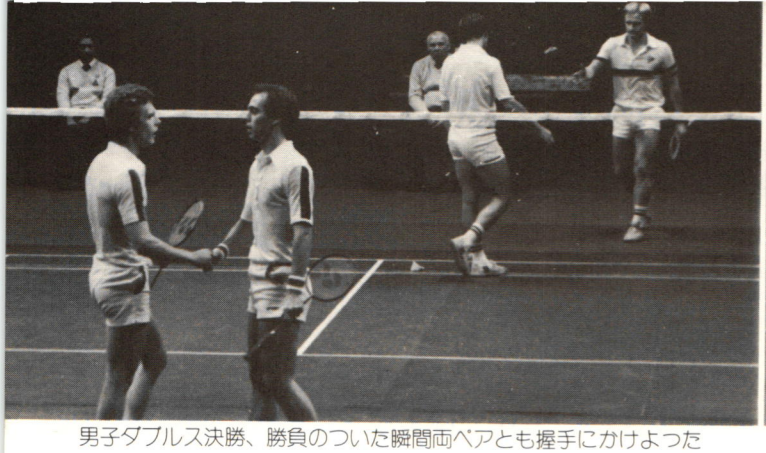




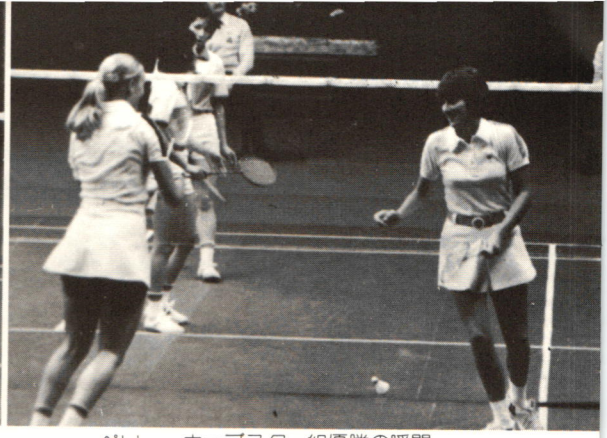
インターバルでのどをうるおす銭谷（右上）

トレジェットのスマッシュ（上）

決勝でがんばる米倉・徳田（右）



男子ダブルス決勝、勝負のついた瞬間両ペアとも握手にかけよった



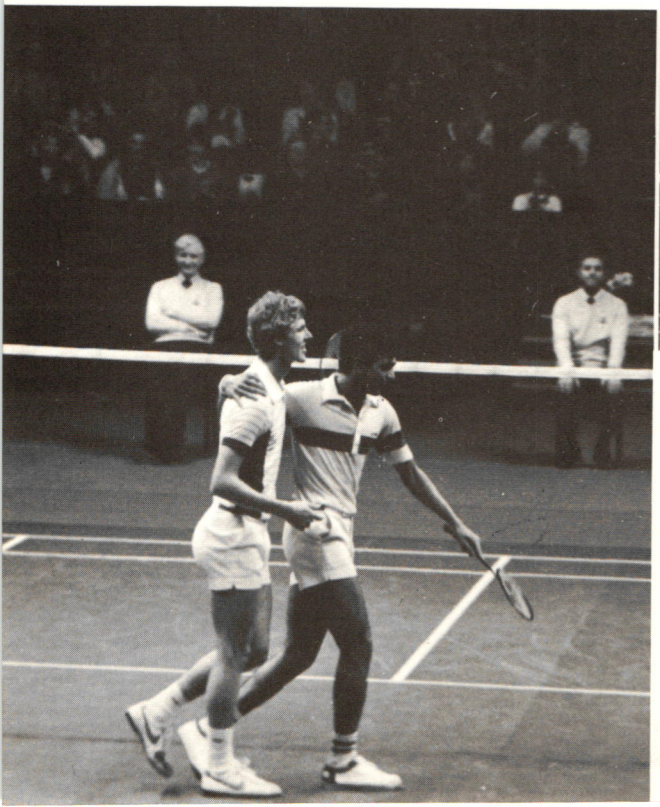
ベリー・ウェブスター組優勝の瞬間

Masters Tournament

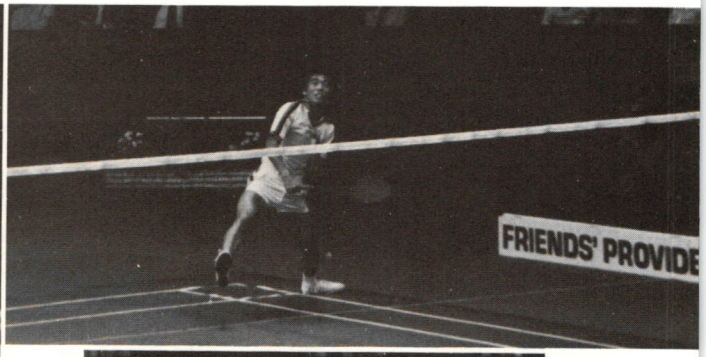
(pic. Hirohiko Yamamoto)

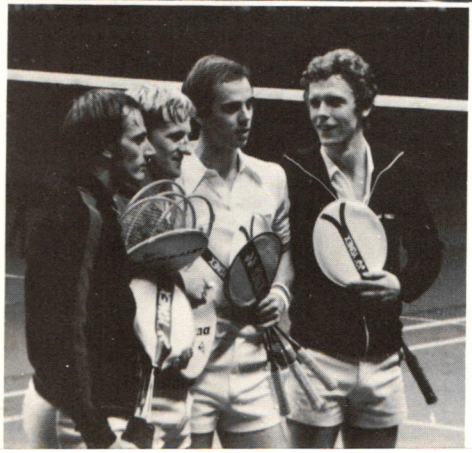


ワイアット氏から祝福のキスを受けるベリーとウェブスター



喜びにあふれるブラカシュと、
悩いなしといった表情のハンセン（左）





銭谷けんめいの攻撃（上）
決勝終了後、健闘をたたえあう
キールストロム・フローマン組と
トレジエット・スティーブンス組（左）

PEPSI COLA CANADIAN OPEN BADMINTON CHAMPIONSHIPS '79

東海林、カナダ・オープンで大金星

徳田・高田組は惜しくも準優勝

1979年ペプシコーラ―カナダ・オープン・バドミントン選手権大会は10月24日から27日までカルガリー市で開催され、日本からは、出場要請のあった飯野（ヨネックス）土田（電電東京）徳田、高田（サントリー）関根、大塚（ヨネックス）に加え、東海林、谷、秋本、原口、宮崎（いずれもサントリー）が予選から参加した。

そして東海林は予選の四試合をただひとり勝ち抜き、本大会への出場権を獲得した。

一試合目は昨年のチャンピオンでカナダ・ナンバーワンのウエンディ・カーター（旧姓クラークソン）であったが、東海林はこの強敵をストレートで降すと、一気に調子の波に乗り、準決勝では大塚をファイナル・ゲーム、セッティングの末破り、決勝へ進出した。

決勝の相手はインドネシア・ナンバーワンの長身ベラワティ。戦前の予想ではベラワティの圧倒的有利であった。

それもそのはず、ベラワティは、今年のシルバーボウルで湯木、近藤を連破して優勝しており、今大会でも準決勝で関根を一方的に破っていたことからもこの予想は当然といえよう。

しかし、東海林は敢然と挑み、第2ゲームから反撃に転じ、ファイナル・ゲームも、セッティングの末ベラワティを降し、大金星をあげるとともに、三千ドルの賞金を手にした。

他の種目は、各国のナショナル・チーム・クラスのメンバーが出場しているとあって苦戦を強いられ、徳田・高田組が二位になっただけであった。

男子シングルスは、最近すっかり安定してきたモルテン・フロスト・ハンセン（デンマーク）が、ダブルスは久し振りの国際大会出場のチャンドラとクリスチャン（インドネシア）が、女子ダブルスはイメルダ・ベラワティ（インドネシア）が、そして混合ダブルスは、全英チャンピオンのクリスチャン・イメルダ（インドネシア）がそれぞれ優勝した。

初の大舞台でいきなり優勝というファインプレーをやってのけた東海林の今後の活躍をさらに期待したい。

◆男子シングルス

▽準々決勝

スミラット(I) 2（15―9 15―5）0 (C)チック

▽準決勝

デルフス(D) 2（15―3 15―12 16―18）1 飯野

トライオン(C) 2（15―4 15―9 8―15）1 土田

ハンセン(D) 2（15―5 15―9）0 マクドゴール(C)

デルフス 2（17―15 15―3）0 スミラット

ハンセン 2（15―4 18―13）0 トライオン

▽決勝

ハンセン 2（15―7 14―17 15―7）1 デルフス

◆女子シングルス

▽準々決勝

東海林 2（11―8 11―6）0 カータ(C)

大塚 2（11―7 12―11）0 高田

関根 2（11―3 11―4）0 徳田

ベラワティ(I) 2（11―3 11―2）0 クロフォード(C)

▽準決勝

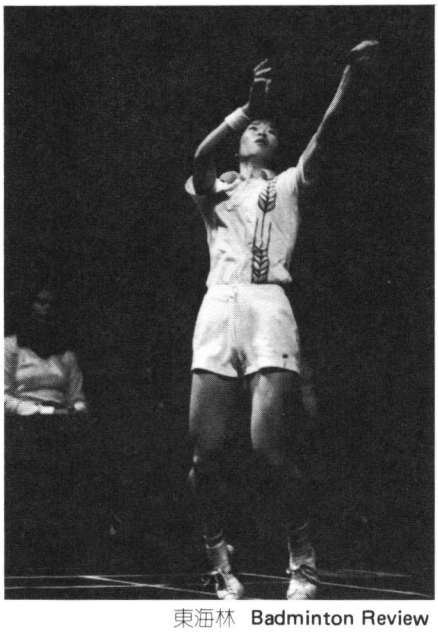
東海林 2（12―9 10―12 11―3）1 大塚

ベラワティ 2（11―0 11―8）0 関根

▽決勝

東海林 2（12―9 11―7 5―11）1 ベラワティ

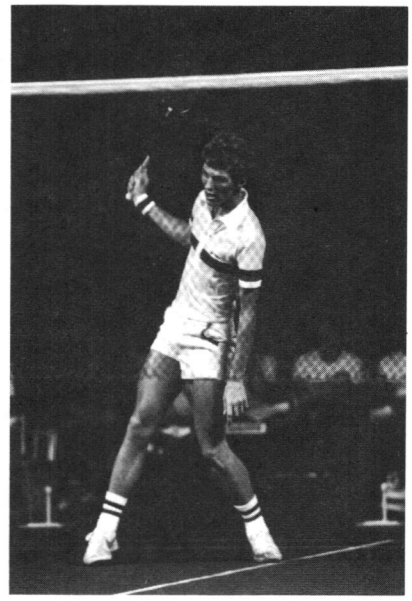
◆男子ダブルス



東海林 Badminton Review

▽準決勝
クリスチャン、チャンドラ 2 (15 15 / 10 6) 0 スーン カンチャ ナラフィ (C)
デルフス ハンセン (I) 2 (15 15 / 12 13) 0 (C) 飯野 土田
▽決勝
クリスチャン、チャンドラ 2 (15 15 / 1 5) 0 デルフス ハンセン (D)
◆女子ダブルス
▽準決勝
ベラワティ、イメルダ (I) 2 (15 15 / 7 6) 0 関根 大塚
徳田 高田 2 (15 6 15 / 11 15 10) 1 カーター バックハウス (C)
▽決勝
ベラワティ、イメルダ 2 (15 15 7 / 7 12 15) 1 徳田 高田
◆混合ダブルス
▽準決勝
クリスチャン、イメルダ (I) 2 (15 15 / 3 5) 0 土田 大塚
チャンド ラ、ベラワティ (I) 2 (15 15 / 7 9) 0 飯野 関根
▽決勝
クリスチャン、イメルダ 2 (15 15 / 1 6) 0 チャンド ラ、ベラワティ

〈国名表示：I＝インドネシア、D＝デンマーク、C＝カナダ〉



M.F.ハンセン

スターティング・バドミントン



すぐに役立つ決定版!!
絶賛発売中!!

バドミントン史上最強の天才プレーヤーが，その体験をもとに、初心者・中級者向けにわかりやすく、具体的に解説した入門書の決定版――――――――!!

「本書は、ジュディ・ハッシュマンが豊富な経験をもとに、初心者向きに書いたものですが、さすがにジュディらしく、すぐ実戦に役立つように書かれています。

そのうえ、それぞれの目的に応じた練習法が紹介されているので、本書をただ最初から最後まで読み通すだけで満足することなく、目的意識をもった能率的な練習をするための必要な手引として、そのつどそのつど、コート上で利用する方が、よりいっそう効果が大きいと思われます。

また、たとえトップ・プレーヤーであっても、本書に書かれたジュディの試合に臨む考え方などは、大いに参考になるはずです」――――――――中山紀子

B5判変形・128ページ
定価1200円

本書は全国書店のスポーツ書コーナーで発売中ですが、万一店頭にない場合は送料160円を加えて、本誌巻末の振替用紙をご利用のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。日本バドミントン協会出版局（03－467－3111）

昭和54年度関東大学秋季リーグ戦

男子 チームワークがっちり法大連覇

主将・鹿野（日体大）5シーズン連続を

女子 達成する死闘乗り越える



大健闘の川島（東女体）
あと1本に涙・涙・涙

昭和54年度関東大学バドミントン秋季リーグ戦は、9月29日（土）その幕が切って落とされた。今季で男子は65回、女子は51回を数え、その歴史は古色蒼然たるも中身は明日の日本バドミントン界を担うであろう若き精鋭たちの活気であふれている。筆者の希望の意味をも込めて、「であろう……」と述べたのも、最近の学生バドミントン界の凋落ぶりを何とか払拭してほしい一心でペンをとっている次第だからである。

さて、今季リーグの見どころは、男子は法大の二連覇が成るか、女子は日体大が5シーズン連続優勝を達成できるかである。両校とも、戦前の予想ではかなりの苦戦が予想はされていた。

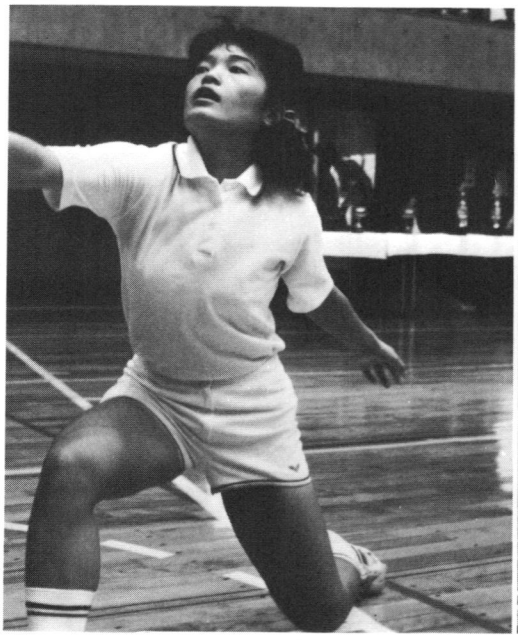
まず、男子1部から戦歴を追っていこう。

法大は宮森の単複にわたる大車輪に、冨田・酒井の落ち着いた戦いぶり、また丹藤・楠美の要所でポイントをあげるしぶとさが目立ち、初日日大、2日目青学大、3日目日体大にそれぞれ楽勝し、4日目対早大戦を迎えた。冨田（法大）が石黒（早大）に、平野（早大）が毛利（法大）に順当勝ちし、結果的には勝敗を分けた、法大宮森・峯組と早大橘川・高橋組が激突した。法大ペアは宮森がダブルスにも進境著しいところを見せ、峯の巧いリードで今季負け知らずのダブルスならば、早大ペアは仙台商高以来の名コンビ。橘川の好レシーブに高橋の強打をかみ合せた強力ダブルスである。第1ゲームからシーソーゲームの好試合を展開したが、激しい打合いの末、サービスに一日の長を見せた法大ペアが、両ゲームともセッティングの末18―16、17―14で早大ペアを下した。これで事実上法大の勝利が決定し、4―3で早大を破り最終日の対中大戦に臨んだ。

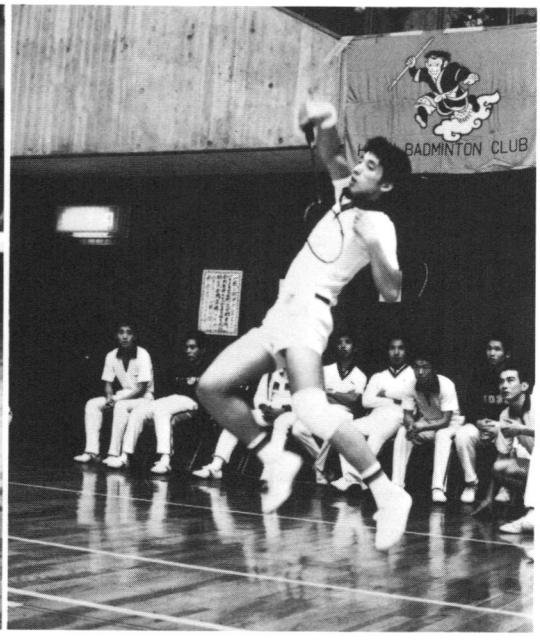
一方、中大も西山・細谷の活躍で、春に苦杯を喫した早大に対しては7―0でこれを下すなど一分の隙も見せず4戦全勝で最終日を迎えた。

いよいよ天王山、4戦全勝同士の法大対中大戦は秋晴れの10月13日（土）つめかけた観衆の熱い視線のもと、両校の殺気の飛び交う中でその決戦は火ぶたが切られた。

第1シングルス、法大毛利対中大西山は、西山が最初から飛ばし、さらに威力を増したスマッシュを武器に毛利を寄せつけずに完勝。第2シングルスは法



大塚（埼大）



宮森（法大）

大冨田対中大多田。第1ゲームは冨田が、第2ゲームは多田が粘り勝ち、ファイナルへもつれ込んだ。しかし冨田は持ち前の体力と巧いプレースメントに加え、ハーフスピードのクロススマッシュで多田を翻弄し、辛くも1対1に持ち込んだ。

続く第1ダブルスは法大の曲者丹藤・楠美対中大吉岡・西山。誰もが中大ペアの優勢を信じて疑わない。しかし、1ゲームを軽くとった中大ペアにまさか油断の念が生じたとは思われないが、魔がさしたとしかいいようのないイージーミスを連発し始める。

2ゲームに入り、サウスポー楠美の繰り出す鋭角スマッシュに当たりが出始め、丹藤も前衛でのヘアピンショットに絶妙の切れを見せ、ファイナルへ持ち込んだ。一旦乗れば手のつけられないのがヤングパワー。それを象徴するかのような丹楠（たんくす）のコンビネーションの歯車がかみ合い、中大ペアにつけ入る隙を与えない。フィニッシュは、バレーボールの経験を持つ丹藤の素晴らしいジャンプスマッシュが中大コートに突き刺さり貴重な金星をあげた。

このポイントが勝負の大きな岐路となるわけだが、中大側にしてみれば後から起こったこれ以上の番狂わせを、もし予想し得たなら、ここでの吉岡・西山組は是が非でも順当な勝ち星をあげておきたかったところである。

第2ダブルスは法大宮森・峯対中大多田・細谷。これも速いドライブ合戦の末コンビネーションに一日の長を見せる法大ペアが押し切った。中大ペアは以前からいわれてきた「二人で半面シングルスをやっている」きらいが最後まで抜け切れず、「ダブルスの法大」に軍配が上がった。

一気に勝負を決めたい法大はエースの冨田・酒井組の登場。後がない中大は、今季に入り進境著しい上原・宮本組にすべてを託す。試合は大方の予想に反し中大ペアが終始リード。上原の巧みなリードが宮本の強打を引き出し、息づまるドライブ合戦にも打球のすべてに対しラウンドで回り込む中大ペアの猛攻に、法大ペアの鉄壁のレシーブでもその速射砲を交わすことができない。

第2ゲームに入り、やや安定して来た法大ペアのコンビネーションも、上原の前へ前へ圧力をかけるドライブ攻勢の迫力にはなす術もない。観衆もこの手に汗握る攻防に釘づけである。法大ペアはやっとセッティングに持ち込むが、中大ペアは思い切りのいい宮本の重弾スマッシュに上原のプッシュと攻撃の手をゆるめず大金星をあげた。

第3シングルスは法大宮森、中大は最後の意地を見せたい主将の吉岡の登場。第1ゲームは宮森の独壇場で、浮いた球に対してはすべて鋭角のスマッシュをたたみ込み吉岡を相手にしない。このまま一気に突っ走るかと思われたが、吉岡も徳俵一杯につまりながら必殺のうっちゃりを狙う。

2ゲームに入り、宮森のスマッシュを辛抱強くレシーブし、宮森のミスを誘い出す。宮森のスマッシュのコースが甘くなったのも幸いし、逆に往年の「海老反りスマッシュ」を要所要所に決め、ファイナルに持ち込んだ。

ファイナルゲームは、宮森が最初から飛ばし中盤まで大きくリードする。しかし吉岡も宮森に打たせるだけ打たせ、丁寧なレシーブで相手のミスを誘発させ12―14まで追い上げる。

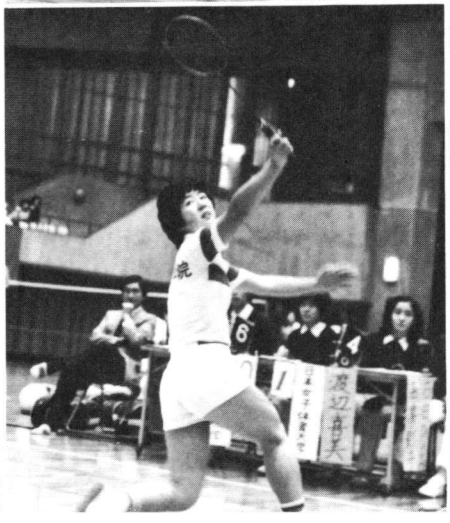
だがいかんせん前半の失点が



高峯（日女体）



丹藤・楠美（法大）



彼島（青学大）



富田（法大）

最後まで響き、ミスをも恐れぬ宮森のスマッシュ攻勢に、リターンも次第に浅くなり万事休す。法大の二連覇が決定し、すさまじい死闘にも幕が下りた。

女子は、日本体育大学、東京女子体育大学、日本女子体育大学の3校が、ポイント差で優勝を争うという文字どおりの三つ巴の熱戦が展開された。

まず第一の山場は3日目に訪れる。東女体大対日女体大。第1シングルス東女体高岸に日女体石田の両横綱の対戦。高岸はスマッシュ主体の典型的な攻撃型プレーヤー。対する石田は、変幻自在のオールラウンドプレーヤー。この日の高岸は悪い癖のムラッ気が顔を出し、そのスマッシュミスを石田につけ込まれ、最後は石田に「振り回された」感じで春の雪辱を許してしまった。以下、柴田（東女体）が渡辺（日女体）を、高岸・川島（東女体）が高峯・小野（日女体）を、石田・渡辺（日女体）が柴田・笠松（東女体）を順当に下し、川島（東女体）と高峯（日女体）の若手同士の決戦となる。

高峯は小柄ながらコート一杯ところ狭しと走り回る軽快なフットワークで、川島の直線的な攻撃を巧くかわして1ゲームを先取する。しかし川島も2ゲーム目以降落ち着きを取り戻し、ストレートスマッシュを要所に決め、キャリアにまさるところを見せ高峯を下す。東女体は初優勝へ大きく前進した。

第二の山場は4日目、日体大対日女体大。第1シングルス石田は藤井に対し常に逆々をつくショットがさえ、藤井のミスを誘発し自滅へ追い込む。第2シングルス枝（日体大）は渡辺に対し、ドリブンクリアとスマッシュで守備の巧い渡辺を崩しにかかる。対する渡辺はあわやオールショートとかと思われるようなドロップ攻撃も効を奏さず枝のパワー勝ち。

ダブルスは順調に各々1ポイントずつをあげ、勝負は日体の主将鹿野対日女体の新鋭高峯へと持ち込まれる。

この試合、高峯は相変わらず野兎のような軽快なフットワークで動きの鈍い鹿野を終始圧倒する。高峯には鹿野の甘いドロップは好餌である。鹿野には持ち前の生きたクリアがほとんどなく、逆に高峯のドリブンクリアに対し苦しまぎれにネット前に落とす逃げのバドミントンから脱出できず、高峯のフットワー

伊藤（関学大）



西山（中大）





吉岡（中大）



法大チーム

クはそれを読むに十分な脚力を備えているからたまらない。勝負はまったくあっけなくついた。

日体大は連続優勝へ赤ランプがともった。

そしていよいよ最終日の優勝決定戦。東女体は青学大に1ポイント落としているのが響き、日体大を撃ち破らねば念願の初優勝はならない。

オーダーを見ても最終シングルスで決着がつくと予想されたが、はたして日体大鹿野・東女体川島の対決という因縁の組合せであり、春季リーグの再来である。

第1ゲーム両者とも堅さがとれず一進一退の攻防が続くが、後半スマッシュをたて続けに決めた川島がセッティングの末12—11でこのゲーム力でもぎ取った。

2ゲームに入ると両者リラックスして激しいラリーが続く。しかしネットプレーにまさる鹿野がドロップを有効に使いファイナルゲームへ持ち込んだ。

館内水をうったように静まり返る中、川島のドリブンクリアを巧みにネット前に誘う鹿野に対し、川島もコーナー一杯を突くスマッシュで対抗する。両者とも一歩も譲らぬ攻防で、下半身はガクガク、コートに座り込むこともしばしば。

9オールから遂にセッティング。川島のネット前の絶妙なプッシュが決まったかに見えた瞬間、非情にもネットタッチ。これで完全に流れが鹿野へ向うかに見えたが、川島もよく攻め、2オール。マッチポイント鹿野で、息苦しい程の長いラリーが続く。両軍ベンチとも必死の形相で戦況を見つめる。

しかし最後、川島のクリアは緊張の糸が切れたかのように、その苦しさから逃れるかのように無情にもサイドラインを割る。

劇的な日体大の逆転優勝決定の瞬間、両チームともに勝って嬉し涙、負けて悔し涙。東女体主将高岸の人目をはばからぬ号泣ぶりが、その死闘を物語っていた。

男子2部は、専大の牧野、藤橋の意外な不振で、関学大が優勝をさらった。主将西沢を筆頭に、青木、伊藤らの健闘が光った。

女子2部は、専大の進撃が注目されたが、埼大が大塚、深井の単複にわたる活躍で、これを退け、栄冠に輝いた。

全体的にみて、男女ともファイナルゲーム後半のスタミナ不

足が目立ち、それがもろに下半身に響き、フットワークの乱れを誘発していたように思われる。単に小手先のテクニックに走るだけでなく、十分な体力を備えるべく不断のトレーニングに精進してほしいものである。

個人的に見てみると、法大の宮森が単複フル回転の10戦全勝、日体大の北橋が単のみ5戦全勝、日大の坂本が単5戦全勝複2勝3敗。

また女子では日女体の石田が単複8戦全勝、東女体の高岸が単複5勝1敗、日体大の枝が単で4戦全勝といったところが目立った選手であった。

なお、「バドミントン界」から贈られるガッツ&フェアプレー賞は男子1部が法大の宮森庄吉、男子2部が関学大の西沢敏弘、女子1部が日女体の石田ひとみ、女子2部が埼大の大塚貴子がそれぞれ獲得した。

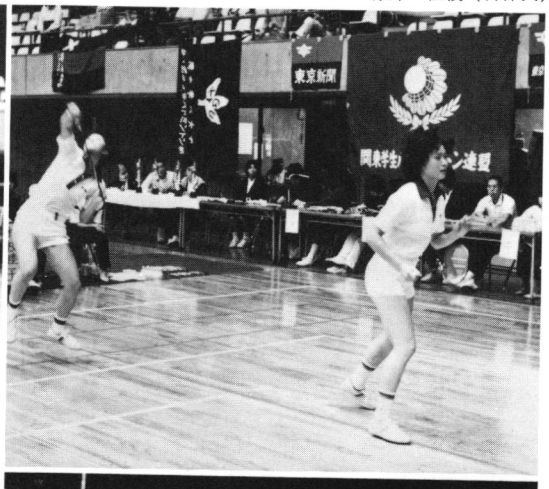
また入替戦の決果、男女とも2部の明学大が3部へ降格し、男子は千葉商科大学が、女子は茨城大学が2部進出を果たした。

（関東学連・記）

日体大チーム



藤井・松枝（日体大）





G＆FP賞の宮森、西沢、石田、大塚各選手



上原・宮本（中大）

▼リーグ戦結果

◆男子1部

⊙第1日

法大 5（D3-0, S2-2）2 日大

早大 5（D3-0, S2-2）2 青学大

中大 5（D2-1, S3-1）2 日体大

⊙第2日

法大 6（D3-0, S3-1）1 青学大

中大 5（D2-1, S3-1）2 日大

日体大 4（D1-2, S3-1）3 早大

⊙第3日

法大 5（D2-1, S3-1）2 日体大

中大 7（D3-0, S4-0）0 早大

日大 6（D3-0, S3-1）1 青学大

⊙第4日

法大 4（D2-1, S2-2）3 早大

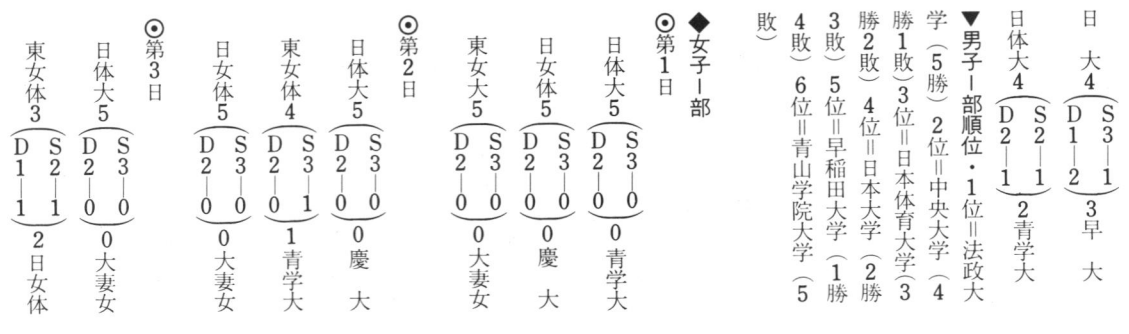
冨田 2（15-2, 15-12）0 石黒

毛利 0（10-15, 3-15）2 平野

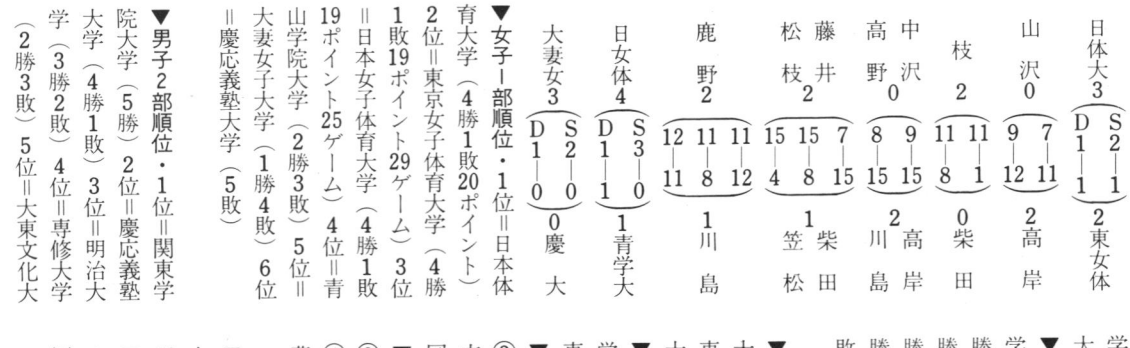
宮森 2（17-14, 18-16）0 高橋

峯 2 橋川 0









▼女子Ⅰ部順位・1位＝日本体育大学（4勝1敗20ポイント）2位＝東京女子体育大学（4勝1敗19ポイント29ゲーム）3位＝日本女子体育大学（4勝1敗19ポイント25ゲーム）4位＝青山学院大学（2勝3敗）5位＝大妻女子大学（1勝4敗）6位＝慶応義塾大学（5敗）

▼男子2部順位・1位＝関東学院大学（5勝）2位＝慶応義塾大学（4勝1敗）3位＝明治大学（3勝2敗）4位＝専修大学（2勝3敗）5位＝大東文化大学（1勝4敗）6位＝明治学院大学（5敗）

▼女子2部順位・1位＝埼玉大学（5勝）2位＝専修大学（4勝1敗）3位＝東京学芸大学（3勝2敗）4位＝早稲田大学（2勝3敗）5位＝昭和女子大学（1勝4敗）6位＝明治学院大学（6敗）

▼男子3部A順位・①千葉商科大学②筑波大学③国士館大学④東京都立大学⑤千葉大学⑥東海大学

▼男子3部B順位・①神奈川大学②一橋大学③横浜国立大学④東洋大学⑤茨城大学⑥成蹊大学

▼女子3部A順位・①茨城大学②日本大学③国学院大学④大東文化大学⑤日本女子大学⑥横浜国立大学

▼女子3部B順位・①千葉大学②立教大学③お茶の水女子大学④文教大学⑤都留文科大学⑥武蔵大学

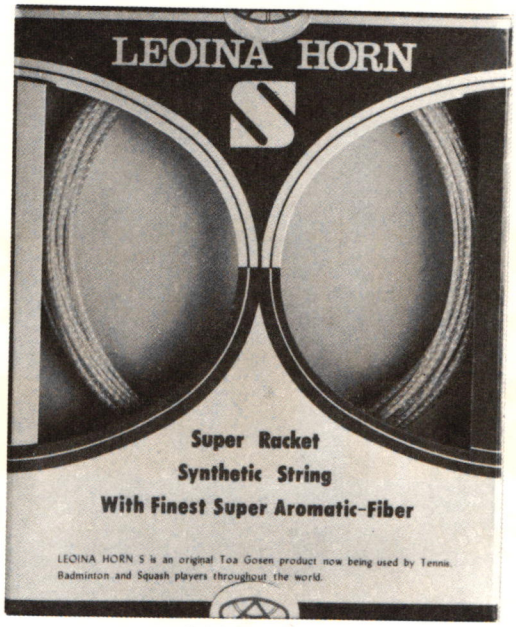
▼男子4部Ⅰ位校・(A)東京理科大学(B)立教大学(C)東京大学(D)埼玉大学

▼女子4部Ⅰ位校・(A)横浜市立大学(B)東海大学(C)東京経済大学(D)筑波大学



RACKET BADMINTON STRINGS

世界のトーアが贈る バドミントンガットシリーズ



レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜合繊株式会社

〒658 神戸市東灘区本山中町4丁目7番5号
電話 神戸 078 (441) 2001(代)～5番

kawasaki
河崎ラケット工業株式会社



選択の時代は終った!

kawasaki Badminton

数あるバドミントン・ラケットの中
カワサキ製品は
ひとり群を抜いた。永い独走が始まる。





グラファイトシリーズ
世界初のオールグラファイトラケット
エイトシックス
グラファイトフレーム　グラファイトシャフト
黒(ケース付)
フレーム価格12,000円

実業団の名門
北辰電機創部20周年迎える

⊙30年、50年へさらに飛躍

実業団の中でも名門のひとつ北辰電機製作所バドミントン部が、創部20周年を迎え、去る11月10日盛大に祝賀会が開かれた。

北辰電機製作所は、大田区下丸子の多摩川べりにあり、資本金35億、従業員2300名という電機メーカーの大手である。

事業の特色は、工業計器専業では業界二番手であり、ミニコンピュータも手がけている。そして工業計器のほか、船舶関係、航空機関係の計器も手がけている。F15やP3Cにもその技術が生かされている。

海外にも広く進出しており、本誌の「ヨーロッパ情報」を担当している山本洋彦氏は、ヨーロッパ駐在員事務所勤務である。

バドミントン部も一時は男女とも実業団の上位に名を連らね、全日本でも混合ダブルスのタイトルを獲得したこともあった。

しかし、ここ数年は部員の減少が続き、女子はチームを編成できない状態となっていた。女子のリーダー格の宮本さんが男子と一緒に練習をつづけ、数少ない女子部員を引っ張ってきたが、ようやく来春には4名の新人が入社することになり、女子部員は（もちろん男子部員も）大喜び。

インターハイ経験者も入るとあって、再び大会の上位に顔を出す日も遠くないと思われる。

一方男子も、中島主将を中心に若手ががんばり、堀越・阿部の両ベテランも健在で、明かるいムードの中にシャトルを追っている。

会社の体育館で練習するのは週二回であるが、それぞれ適当な場所・仲間を見つけては、練習に出かけている。

中島主将は、

「うちはごらんのとおり部員数も少ないし、練習日なども決して恵まれているとはいえません。しかし、よそのチームには絶対負けないチームワークがあります」

と胸を張った。

宮本さんも、

「ずっとチームが編成できない状態で残念な思いもしましたが、4月には新人も入ってきますので、新人を迎えて恥かしくないように、立派なチームづくりをしておきたいと思います。」

と熱っぽく語っていた。

30周年、50周年に向けて大いにがんばってもらいたいものである。



中島主将を中心にチームワークが自慢

ボディの美しさから出発した、主張のあるスポーツウエア。
単にかたちだけに流れず、単に機能だけに片よらない、新しい発想のスポーツウエアの誕生です。デザインは、あの三宅一生。このほかヨネックスには、オリジナルなスポーツウエアや、日本バドミントン協会推薦のスポーツウエアをずらりそろえています。

プレイヤーの声から、使いやすさをカタチにしたバッグ達。
ヨネックスのスポーツバッグの大特徴は、それぞれのデザインに、用途別にセブン・スリー・ワンと3種類あること。長期遠征用・短期遠征用・当日大会用と使いわけることができます。バッグにT.P.O.を持ちこむなんて、ヨネックスならではのアイデアとは思いませんか。ともかく、ヨネックスでかためると強い。

ヨネックスを着る。
ヨネックスを持つ。
勝てそうだぞ。

Flemming Delfs
フレミング・デルフス（デンマーク）



世界初のオールグラファイトラケット
エイトシックス

グラファイトフレーム・グラファイトシャフト/黒(ケース付)
フレーム価格12,000円　ガット張り上り価格12,900円(ロンシープ)



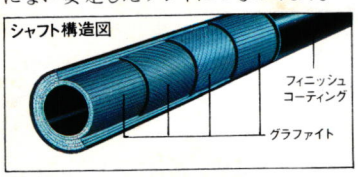
RACKET kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

用により、ショット時のフレーム部のたわみが最適に作用し、たまもちが一段と良くなりました。これがスイートスポットの広がったと言われるところです。

打球をパワフルに——グラファイトシャフト

シャフト部は、グラファイトをタテ2層、左右ナナメに2層、計4層を組んで構成。(多重交差グラファイト)
多重に交差させることで、グラファイトの剛性を強力なバネに変えるので、エキサイトしたプレイ中に起きるラケットのねじれや、ぶれを最少限にとどめます。

エイトシックスを使うことにより、レシーブ能力、攻撃力とも更にアップし、いままでにない安定したプレイにつながります。



新鮮な打球感!

振動吸収力をアップ

科学的な実験により、グラファイトの振動吸収性の良さは実証ずみ。エイトシックスの使用は、プレイ中の疲労度を軽減させます。

ラケットの強じん化

グラファイトの強じんさが、そのまま生かされているので、どんな強い振りに対しても、曲がり、ねじれの心配がありません。

新鮮な打球感

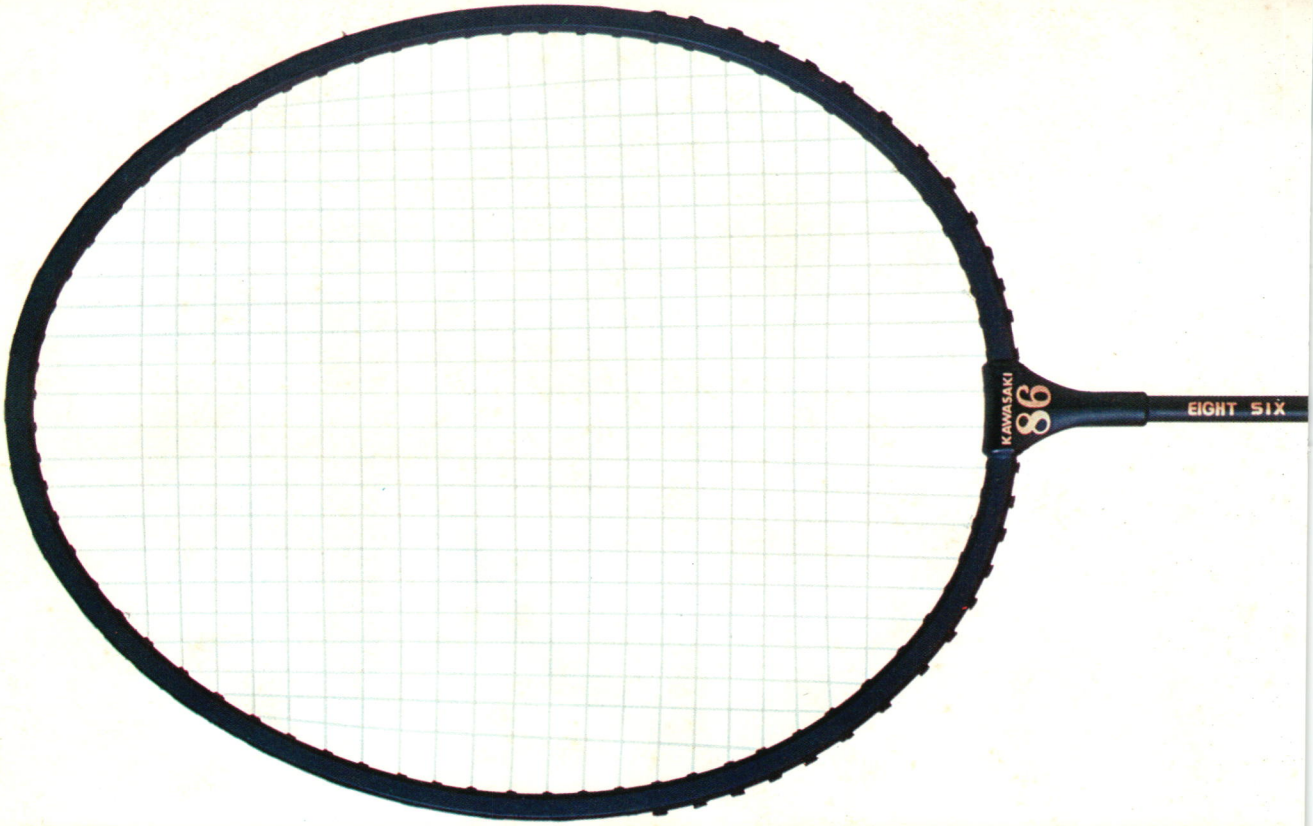
振動吸収性の良さ、しなり、たわみ具合の最適さなどが融合され、エイトシックスの打球感は全く新鮮なものになりました。新しい打球感の体験は、プレイに新しい発見をもたらします。



エイトツウ
シルバー(ケース付) グラファイトシャフト・アルミフレーム
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,900円



エイティ
黒(ケース付) グラファイトシャフト・ウッドフレーム
フレーム価格8,000円　ガット張り上り価格8,900円

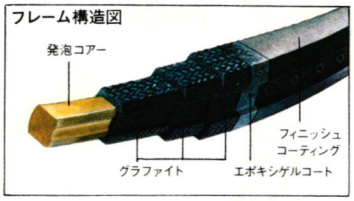


GRAPHITE

エイトシックス。このラケットの誕生は世界のバドミントン界に、ハリケーンを巻きおこし、カワサキの時代が到来したことを感じさせます。既に発売中のエイティ(B-80)・エイトツウ(B-82)は、100%グラファイトシャフト使用のラケットとして、その打球感の良さが一流プレーヤーの喝采を浴びました。
今、新登場のエイトシックスは、グラファイトを更にフレーム部にも採用。従来のグラファイトシャフトと一体となり、世界初のオールグラファイトラケットとして登場しました。他の新素材を使っただけのラケットと比較して、違いがはっきりわかるラケットの完成です。

しなやかな剛性 —— グラファイトフレーム

エイトシックスのフレーム部は、三層の編組グラファイト(数百万本のグラファイト繊維を編む)で構成され、表面はウレタンコーティングで手ざわりの良さ、仕上げの美しさなどが加わり高級感を出しています。



カワサキはなぜグラファイトを編むのか!

グラファイトの剛さと軽さは宇宙工学の分野の素材として使用されていることでも実証されています。
その剛さと軽さに、ラケットとして理想的なしなやかさをどう融合させるか——。
カワサキは独自の“編む”という技術によりグラファイトを、剛く、軽く、しかもしなやかな素材へと変革させました。
カワサキ技術陣の大きな功績です。

広くなったスイートスポット

エイトシックスは、編組グラファイトの使

kawasaki Badminton



グラファイトシリーズ





オールカーボンシャフトとウッドフレームによる

世界初の超軽量 XL級 105g〜109g

コンピュータとキャリアが生み出した
100％カーボン・ロングテーパーシャフト
軽さと強さをかねそなえた
スーパーラケットの登場！

Carbon Slugfest
カーボンスラッグフェスト　B-85・B-80

日本バドミントン協会推奨

■プレーヤー待望のパーフェクトラケット完成

より高度に、そして多彩になっていくバドミントンのプレーテクニック。そのすべてのプレーに一本のラケットがパーフェクトに対応します。ゴーセンが開発した100％カーボン・ロングテーパーシャフト『カーボン・スラッグフェストB-85・B-80』。プレーヤーの強い要望に応えた理想のラケットの登場です。

■電子頭脳が答えた理想の構造

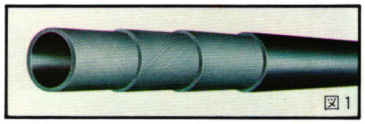


図1

20世紀の科学が生んだ最高のラケット素材《カーボン》。このカーボン繊維を、ラケットの生命といわれるシャフト部分に使用。この素材特性をいちばん効果的に発揮させるため、図①のように方向の異なる繊維を3層に組み合わせました。この構造図式は、理想のラケットを創り出すという前提のもとに、コンピュータがはじき出した答えです。

さらにもう一歩理想に近ずくため、この構造によるシャフトのロングテーパー化をコンピュータは指示しました。

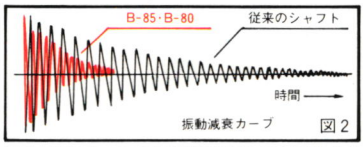


図2

最良の理論——これを製品として実現させたのはゴーセンの技術力。カーボン究極の特性を安定して確保し、世界でも類を見ない100％カーボン・ロングテーパーシャフト化に成功しました。

■カーボン・ラケットの決定版

細部にわたる測定テスト。このB-85・B-80はすべての点で他のカーボン・ラケットをしのぎました。カーボンの特性をこれほど完璧にいかしきったラケットは見当りません。



■B-85・B-80の特色

- 超軽量XL級(105g〜109g)
- 高反発／高弾性（強く、鋭い打球）
- 高強度(優れた耐久性)
- 迅速な振動減衰性（打球後のラケットの安定。図②参照）
- 高応答性(打球の手応え)まさに長所総づかみ。カーボン・ラケットの決定版！堂々と登場です。

カーボンスラッグフェスト
B-85(黒)・B-80(白) **¥7,500**

- バンブー・ウッド合板
- 100％カーボン・ロングテーパーシャフト
- カバー付



GOSEN

本　　社●〒540 大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京支店●〒111 東京都台東区竜前4-14-2　☎(03)862-6576(代)
福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8　☎(092)712-5247(代)
北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22　☎(0762)47-0200(代)



反発の創造。

ゴーセンバド・ガット●ウインテックスシリーズ / ハイ・シープシリーズ

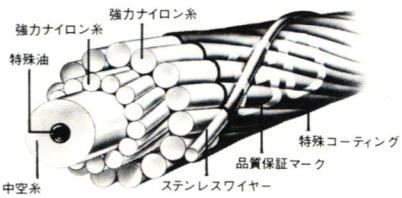
世界に誇るゴーセンのガット技術。

世界15か国でパテントを取得！

世界的なガットスペシャリストGOSEN。その証明は世界15か国におよぶパテントの取得。日本はもとより世界各地のファンを魅了したガットの数々。それはまさにゴーセンならではの技術における《完成度の高さ》を示すものです。

■中空糸・特殊油入り(PAT. 1106964)

糸の芯部分を空洞に。この中空部分が打球に鋭い反発を促進。また打球音・打球感も抜群なものにします。この中空糸の中に特殊油を注入。この油がガット表面に粘着し、油まくがガットを外気（乾燥、湿気など）から守り、ガットコンディションを完全キープ。



■ステンレスワイヤー巻き付け(PAT. 1212170)

ガットにワイヤーを巻き付け。ワイヤーは一定間かくでらせん状に糸に食い込み、ガットを強く張った状態に固定。ガットの伸びやゆるみを防止。強い打球を促進。

このように特許を取った技術の他にもゴーセンは●**カーボン混入**●**ゲージの超細化**など他にはマネのできない技術でプレーの向上に貢献しています。

Wintex WIRE ウインテックス・ワイヤー

No.1900W……¥800 (10m・ゲージ0.85㎜)

●超強力糸●中空・特殊油入り
●ステンレスワイヤー巻き付け

ゴーセンの技術ノウハウをすべて傾注。スーパーガットとして仕上げました。中空・特殊油・ワイヤーの効果がそれぞれに相乗して、抜群の反発力を生み出します。同時にパワーとスピードにあふれた打球をも可能にし、まさにオールマイティ。多様化するバドミントンのプレーテクニックにみごとに対応できるガットです。

油・ワイヤーにより乾燥や湿気もシャットアウト。常にベストのガットコンディションでプレーにのぞめます。



※類似品にはくれぐれもご注意ください。

GOSEN

本　　社●〒540 大阪市東区農後町4 ☎ (06)942-5816(代)
東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2 ☎ (03)862-6576(代)
福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8 ☎ (092)712-5247(代)
北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22 ☎ (0762)47-0200(代)

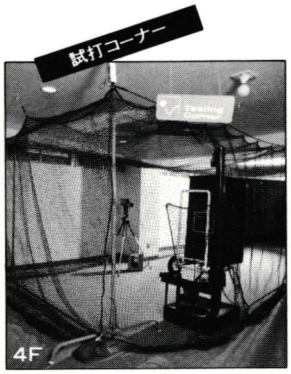
ずらり、4店勢揃い。

渋谷店

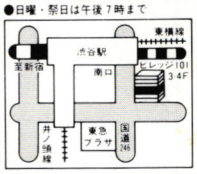
170坪

650㎡の広々とした店内でゆったりショッピング。
試打コーナーも人気上々。





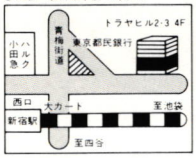
毎月曜日定休
●祝祭日を除く
東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7（ヒレッジ101ビル3-4階）TEL03-464-9251〒150
●営業時間／午前10時～午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで



新宿店

落ち着いた雰囲気でお買いもの。各階それぞれの
楽しさがいっぱい。

毎月曜日定休
●祝祭日を除く
東京都新宿区西新宿7-10-20（トラヤビル2.3.4階）TEL03-363-6848〒160
●営業時間／午前10時～午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで





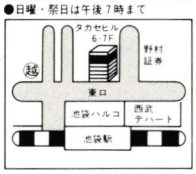




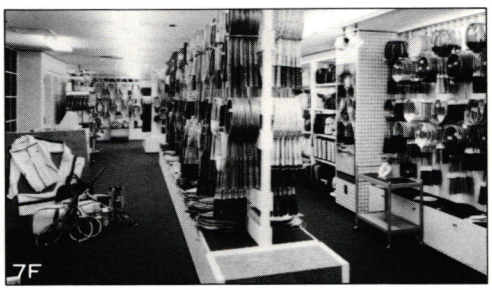
池袋店

つぶ揃いのテニス、バドミントン用品が
店内にあふれんばかり。

毎月曜日定休
●祝祭日を除く
東京都豊島区東池袋1-1-4（タカセビル6・7階）TEL03-989-0401〒170
●営業時間／午前10時～午後7時30分
●日曜・祭日は午後7時まで







横浜店

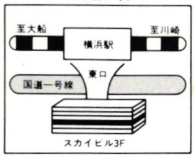
ラケット、ウェア、シューズ……すべてに豊富な品揃え。
選びやすい各コーナー。







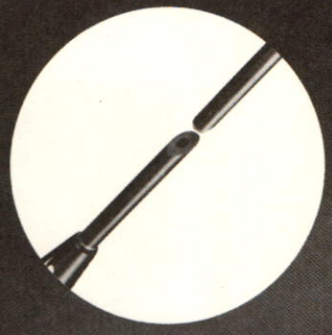
年中無休
横浜市西区高島町2-1　横浜駅東口（スカイビル3階）TEL045-453-1785〒220
●営業時間／午前10時～午後8時
●日曜・祭日も午後8時まで



日本最大のテニス・バド専門店
WINDSOR RACKET SHOP

信頼のマーク WINDSOR ウインザー ラケットショップ。







CARBO DELUXII

S-79

新製品

カーボデラックスII

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

★日本リーグ開幕まであと5日★

われらかく戦う！

いよいよ日本リーグも、12月8日に開幕となります。そこで、参加チームの代表の方々に、「優勝への意欲」を聞かせていただきました。プログラムの誌面より一足先に、読者のみなさんにその声をお伝えしたいと思います。

◇男子

▼ヨネックス柏野尾主将

今年は、新人長谷川も加わり、ますます選手層が厚くなり、心強く思っています。6月の実業団大会優勝の勢いのまま、今回も豊富なメンバーをフルに生かし、絶対に優勝するつもりでいます。

▼電電東京増尾マネジャー

池田新監督誕生で、よりいっそうチームワークよく、まとまってきました。この奮闘気の盛り上がりそのままに、優勝街道まっしぐらに進んでいきたいと思います。

▼河崎ラケット今井主将

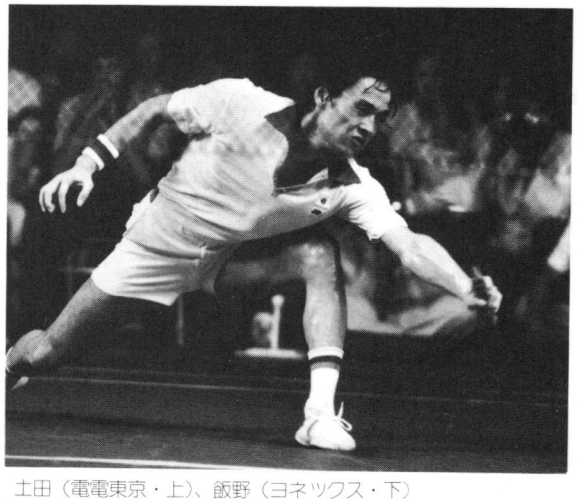
はっきり言って、うちは持駒が少ないので、2複1単ダブリなしのこの試合形式は、きついですね……。しかし優勝への意気ごみは、どのチームにも負けないつもりです。

今までは、最低2人の強い選手がいれば優勝できるという試合ばかりでしたが、これからはどうしても、4、5人は必要ですね。今後のバドミントンの発展のためには、この日本リーグは大変有意義な企画だと思います。

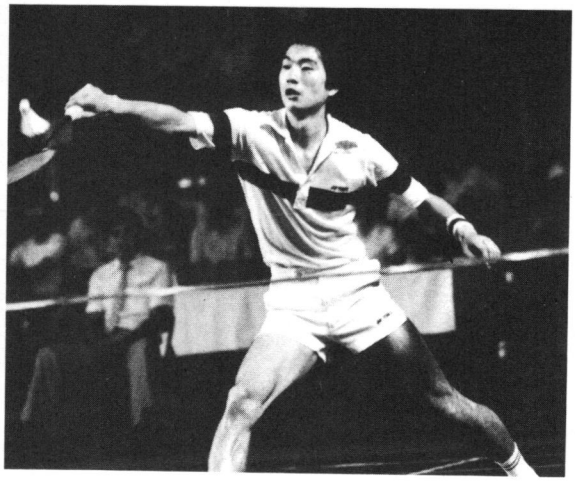
最後に一言〝頑張ります〟

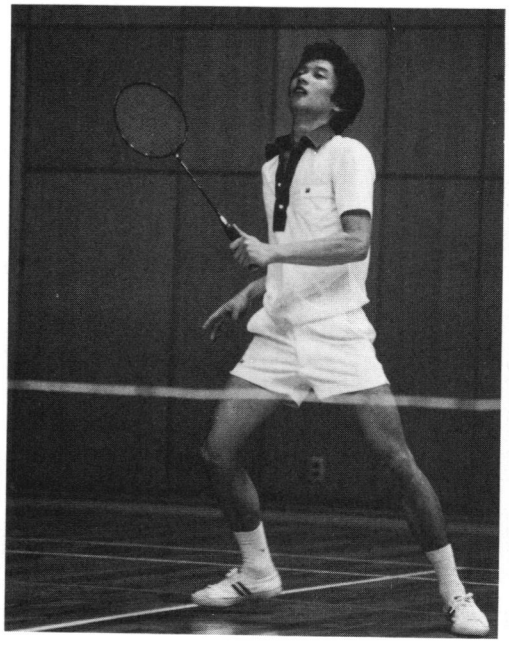
▼高岡市役所今泉主将

うちの場合、選手の高齢化が年々気になる問題ですが、全員「地元を背負って出場している



土田（電電東京・上）、飯野（ヨネックス・下）





長谷川（ヨネックス）

という自覚」を持って頑張るつもりです。

▼学生選抜星野マネジャー

学校単位の出場でなく、選抜チームで戦うというのは、僕たちの長年の夢でした。年々学生界のレベルの低下がささやかれていますが、世界で活躍している社会人の方々と接し、腕を磨けるこの機会を大切にしたいと思います。

また「学生界を代表する」という自覚が、今後のバドミントンに対する意欲の向上につながると思います。優勝にはほど遠い僕たちの実力ですが、一試合一試合をしっかり戦っていきたいと思います。

◇女子

▼サントリー山本監督

第1回大会ということもありぜひ優勝したいですね。実業団大会4連勝を成し遂げた年でもありますし、今が一番チームとして波に乗っている状態と言えるでしょう。しかし、今回は一日一試合、一発勝負ですから、慎重にいきたいと思います。

今後、この日本リーグに参加するチームがふえ、世界をめざす、高校生、大学生がどんどん出てくることを、楽しみにしています。

▼ヨネックス佐藤マネジャー

栂野尾悦子も復帰し、飯野裕子、土田美加のベテラン3人を中心に、若手の関根、大塚の力がうまくかみ合えば、優勝も夢ではないと思います。とにかく一試合、一試合を大切に頑張っていきます。

▼河崎ラケット湯木主将

第1回大会ですので、ぜひ優勝したいと思います。できればシングルス、ダブルス兼ねて出場したいですね。

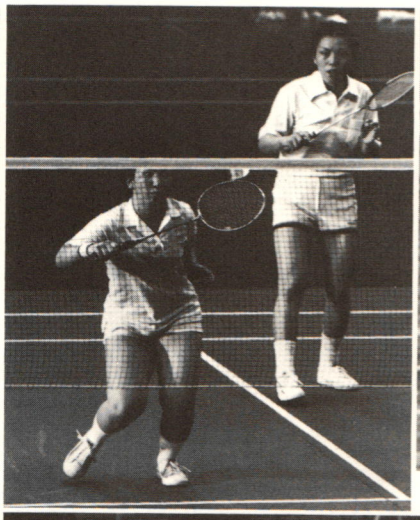
▼日本電装藤江監督

平均年齢19・5歳という若いチームです。勝負はともかく、最後までシャトルに食いつき、若さでぶつかっていくつもりです。

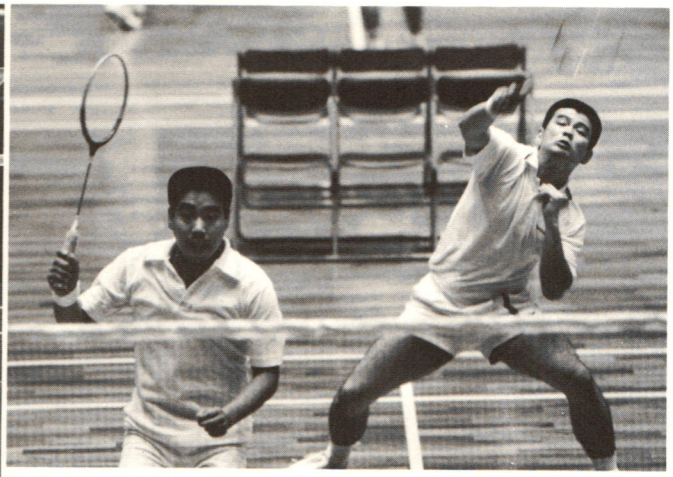
そしてうちのようなチームでも一生懸命やればできる、ということを証明したいと思っています。

▼学生選抜

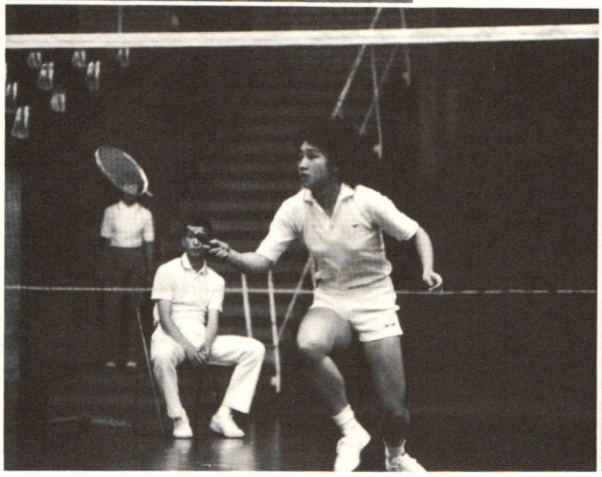
なお、学生選抜女子チームとは連絡がつかず、残念ながら間に合いませんでした。

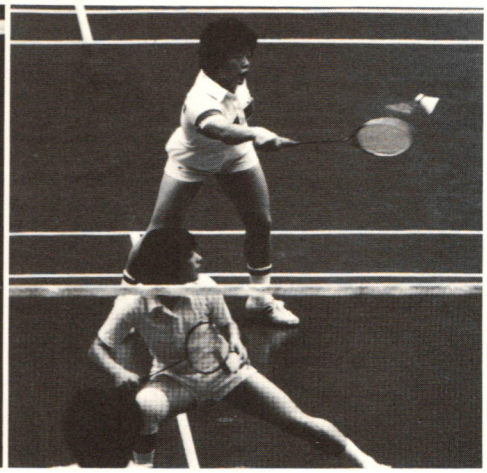


湯木・千葉（河崎ラケット）



今井・斉藤（河崎ラケット・上）、関根・大塚（ヨネックス・下）





山本（学生選抜・筑波大）

Randers Open

Jutland, Denmark Nov.9-11

デルフス　久々のタイトル

ベラワティは〝寒さ〟克服

飯野・土田組、近藤はベスト4入賞

イギリスで行なわれた第1回世界オープン大会につづいて、規模としてもほぼ同等のオープン大会が、デンマークのユトランド・ランダースで開かれた。

ランダース・オープンと呼ばれるこの大会は、賞金総額2万クローネ（約1千万円）で、11月9日から11日まで3日間にわたって行なわれた。

今大会には、インドネシアも男女とも一流選手を送り込込み、タイトル獲得に意欲をみせた。

日本からは、銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、近藤小織、高田幹子の5選手が参加、男子シングルスで銭谷がベスト8、女子シングルスで近藤が、男子ダブルスで飯野・土田がそれぞれベスト4に入賞する健闘だったが、惜しくもタイトル獲得はならなかった。

各種目の主な記録はつぎのとおり。

◆男子シングルス

▽1回戦

銭谷 2（15—9, 15—6）0 ファーレ（D）

土田 2（18—15, 15—13）0 ニャーホルツ（D）

キールストロム 2（15—9, 15—6）0 飯野（S）

▽2回戦

スミラット（I） 2（15—2, 15—2）0 カールソン（S）

プリ（D） 2（15—11, 7—15, 15—11）1 土田

デルフス（D） 2（15—8, 15—11）0 ジョンソン（S）

スティーブン 2（15—9, 15—6）0 ヘルショルト（D）

アービス（E） 2（15—2, 15—0）0 リンド（D）

キールストロム 2（15—7, 15—2, 8—15）1 ヘレディ（D）

銭谷 2（15—6, 13—15, 15—11）1 ジョリー（E）

ハンセン（D） 2（15—3, 15—1）0 不明

▽準々決勝

スミラット 2（15—7, 18—15）0 プリ

デルフス 2（15—6, 15—4）0 スティーブンス

キールストロム 2（17—14, 15—12, 7—15）1 アービス

ハンセン 2（15—2, 15—12）0 銭谷

▽準決勝

デルフス 2（15—10, 15—11）0 スミラット

ハンセン 2（15—4, 15—4）0 キールストロム

▽決勝

デルフス 2（18—15, 15—10）0 ハンセン

◉飯野は緒戦から強豪キールストロムと対戦し完敗。土田は2回戦で〝デンマークの暴れん坊〟のベテラン・プリと対戦。第1ゲームすべり出しよく先取し、あわやと思わせたが、プリのうまいかけひきに逆転負け。

銭谷はイギリスの若手ナンバーワンで、間もなくスティーブンスとも肩を並べると目されているケビン・ジョリーと2回戦で顔を合わせた。

ジョリーは今大会前のデンマークとの親善試合でデルフスにストレート勝ちを収めているとあって、自信満々。あわよくばタイトルもという意気込みであった。

銭谷は第1ゲームを15—11で先取したものの、第2ゲームにはいるや元気いっぱいのジョリーに、2—14と引き離された。もし、このままファイナル・ゲームに持ち込まれると〝流れ〟はジョリーにという形勢だった。

しかし、銭谷はこのゲームを

捨てることなく、じっくりとシャトルを回してばんかい。そして13―14まで追い上げたのである。結果的にこの追い上げがジョリーの自信をぐらつかせるとともに、〝流れ〟を自分のほうに引き戻すことになり、ファイナル・ゲームは15―6の一方的スコアで、ベスト8へ進出を果たしたのである。

翌10日の午前10時から行なわれた準々決勝で、銭谷はモルテン・フロスト・ハンセンとベスト4入りをかけて対戦。

ハンセンは今大会絶好調で、1回戦3本、2本、2回戦1本、3本という最少点しか失っておらず、タイトルへの最短距離を思わせた。

そのハンセンに対し、銭谷は真っ向からの勝負を挑み、第1ゲーム12オールまでせり合った。しかし、ここから力の差が出てジリジリと引き離され、第2ゲームは2―15の完敗であった。

スミラットはインドネシアの期待を背負って、宿敵プリと対戦。第1ゲームこそセッティングにもつれたが、ストレート勝ち。

デルフスも地元での大会にはめっぽう強く、スティーブンスにヒトケタ失点で完勝。キールストロムは、インドネシアの新鋭アービに大苦戦をしいられ、ファイナル・ゲーム、セッティングの末ベスト4入りを果たした。

シード選手同士の対決となった準決勝は、デルフスが最近の不調を吹きとばす活躍ぶりで、スミラットを一方的に降せば、僚友ハンセンもキールストロムに15―4、15―4という一方的スコアで楽勝した。

先のマスターズ大会予選ラウンドでもデルフスを降しているハンセンは、決勝でも好調を持続〝10までは一気にリードした。観衆も〝やはりハンセンのものか〟と思ったにちがいない。

しかし、デルフスも〝兄貴〟としての誤りがある。じわりじわりと追い上げた末に逆転。第2ゲームもセッティングとはなったが、みごとに栄冠に輝いた。

ワールドカップ79、全英選手権、トマス杯、そしてマスターズ大会と、かつての切れ味がなくなり、〝すでに峠を越した〟かと見られていたデルフスが、久々にその実力を見せつけた一戦であった。

◆女子シングルス

▽1回戦

高田 2 (11―7, 11―3) 0 テケルセン(D)

近藤 2 (11―1, 11―2) 0 ボストフ(D)

▽2回戦

コーペン(D) 2 (11―5, 11―2) 0 ボルエッソン(S)

ペリー(E) 2 (11―6, 11―3, 7―11) 1 高田

ベラワティ(I) 2 (11―2, 9―11, 12―11) 1 不明

トーレセン(N) 2 (11―3, 11―8, 5―11) 1 ウェブスター(E)

ビューセコム(H) 2 (11―1, 11―4) 0 サットン(E)

近藤 2 (11―4, 11―7) 0 ラーセン(D)

クリステンセン(D) 2 (11―8, 11―5) 0 ペリ(D)

ギルクス(E) 2 (11―8, 11―3) 0 ソレンセン(D)

▽準々決勝

コーペン 2 (11―4, 11―5) 0 ペリー

ベラワティ 2 (11―3, 11―4) 0 トーレセン

近藤 2 (11―6, 11―8, 11―2) 1 ビューセコム

ギルクス 2 (11―1, 11―0) 0 クリステンセン

▽準決勝

ベラワティ 2 (11―4, 11―5) 0 コーペン

ギルクス 2 (11―1, 11―4, 10―12) 1 近藤

▽決勝

ベラワティ 2 (11―4, 11―7) 0 ギルクス

⊙〝熱帯の国〟から〝北欧〟へきたベラワティが、気候の違いを克服してみごとに優勝した。

ベスト4はシード選手がそのまま残り、まずは順当な組合せとなった。

コーペン×ベラワティは地の利を度外視しても、最近の安定ぶりからみて、コーペン優勢と思われたが、意外にもストレートでベラワティが勝った。

近藤×ギルクスはマスターズ大会でも、近藤が第1ゲームを取りながらの逆転負けを喫しており、ここ一番の大勝負での甘さを指摘されているだけに、近藤としては、なんとしても勝ちたかったところであろう。

しかし、結果はまたしても逆転負けであった。ギルクスがその最大の武器としている〝プロ根性〟に負けないだけの精神的強さをつけてもらいたいものである。

決勝でも、接戦の予想に反して、ベラワティがその強打をいかんなく発揮、ストレートで勝利を手にした。

寒さのせいか、力を出せずに敗れていったインドネシア勢の中でひとり気を吐いた〝ベラ〟のみごとな試合ぶりだった。

◆男子ダブルス

▽1回戦

飯野 土田 2 (15―13, 15―18, 15―7) 1 プリ、スミラット(D)(I)

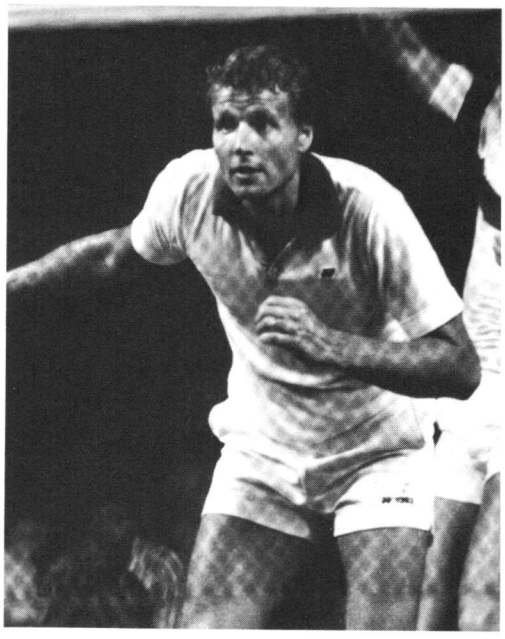
▽準々決勝

スティーブンス、トレジュット(E) 2 (15―11, 17―15) 0 チュンチュン、ワジュディ(I)

スコブガード、デルフス(D) 2 (18―15, 15―8) 0 カールソン、ノルディン(S)

クリスチャンドラ、チャン、エディ(I) 2 (15―5, 15―4) 0 サットン(E)

飯野 土田 2 (15―5, 17―16) 0 ヘレディ ハンマガード(D)



フレミング・デルフス

▽準決勝
スティーブンス、スコブガード、デルフス　2（15―13、15―13）0　トレジェット
クリスチャン、チャンドラヤンドラ　2（15―9、13―15、18―15）1　飯野・土田

▽決勝
スコブガード、デルフス　2（15―12、15―10）0　クリスチャン、チャンドラヤンドラ

⊙国際試合にもすっかり慣れた飯野・土田組が、再びペアを組んだクリスチャン・チャンドラ組と非常に熱のこもったいいゲームを展開した。第2ゲームを15―13で取っただけに、第1ゲームのセッティングを落としたのが惜しまれる。しかし、一時第一線を退いたかにみえたチャンドラの、その巨体からくり出すスマッシュは、やはり世界でも第一級のものであった。

決勝ではシングルス同様に、地元ではその底力をいかんなく発揮するデルクスとスコブガードがストレートで、クリスチャン・チャンドラを降した。

◆女子ダブルス

▽2回戦
近藤・高田　2（15―7、15―7）0　マイヤー・モルガード(D)

▽準々決勝
ベラワティ、イメルダ(I)　2（15―9、15―12）0　不明
ウェブスター、サットン(E)　2（15―10、15―7）0　ボイヤー・ボストフ(D)
ギルクス、ペリー(E)　2（15―6、15―4）0　ピルガード(D)
近藤・高田　2（15―4、15―10）0　エラーセン、ソレンセン(D)

▽準決勝
ベラワティ、イメルダ　2（15―4、15―7）0　ウェブスター、サットン
ギルクス、ペリー　2（15―9、15―2）0　近藤・高田

▽決勝
ギルクス、ペリー　2（15―8、15―4、17―14）1　ベラワティ、イメルダ

⊙イギリス協会との〝不和〟のためナショナル・チームからはずれるなど不遇をかこっていたギルクスが、ノラ・ペリーという同国きっての名ダブルス・プレーヤーをパートナーに得て、実に強力なプレーをみせた。

全英選手権保持者のベラワティ・イメルダ組はイキのぴったり合ったコンビで、第1ゲームを取ったが、ギルクス・ペリーのオールラウンドなプレーの前に、2、3ゲームは一方的に押し切られてしまった。

ギルクス、ペリーともに後陣からの打点の高い攻撃と、すばやいネットへの突っ込みを武器に積極的なゲーム展開に成功した。

近藤・高田はやはり即成という弱点をカバーし切れずに敗退した。

◆混合ダブルス

▽1回戦
タルボット、ギルクス(E)　2（15―1、15―6、17―14）1　土田・高田
スコブガード、コーペン(D)　2（18―14、18―13）0　飯野・近藤

▽準々決勝
クリスチャン、イメルダ(I)　2（15―1、15―10）0　フラッドベリ、ニールセン(D)
タルボット、ギルクス　2（15―6、15―11）0　スコブガード(D)・ヘレディ
スコブガード、コーペン　2（15―4、15―9）0　サットン・ウェブスター(E)
トレジェット、ペリー(E)　2（15―5、15―6）0　不明

▽準決勝
クリスチャン、イメルダ　2（15―1、12―15、15―10）1　タルボット、ギルクス
トレジェット、ペーペン　2（15―9、15―18、15―11）1　スコブガード、コーペン

▽決勝
トレジェット、ペリー　2（15―12、15―7）0　クリスチャン、イメルダ

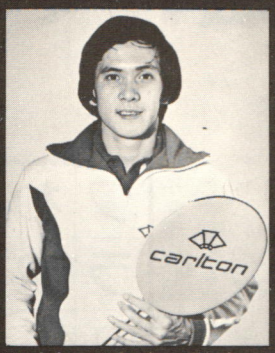
⊙全英選手権決勝と同じ顔合せとなったが、今回はミックスの伝統を誇るイギリス・ペアが雪辱を果たした。

ともに準決勝はファイナル・ゲームにもつれ込んだが、決勝は意外にもストレートで勝敗が決した。

〈国名表示：D＝デンマーク、S＝スウェーデン、I＝インドネシア、E＝イギリス、N＝ノルウェー、H＝オランダ〉

おわび

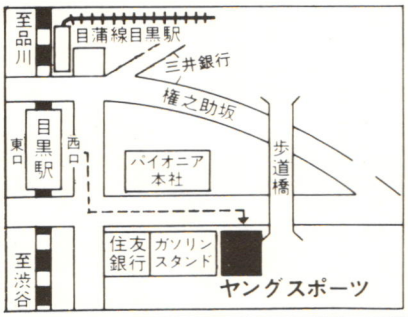
全日本学生選手権大会の結果は次号に掲載いたします。予告と変更がありおわびいたします。



Liem Swie King
1978年度全英選手権
男子シングル優勝

大量入荷!!

'79バドミントンラケットは カールトンだ!!



ヤングスポーツ

〒153 東京都目黒区目黒1-3-16 目黒駅西口1分 ☎491-7822

どんどん交流の輪を広げて

花見川バドミントン同好会

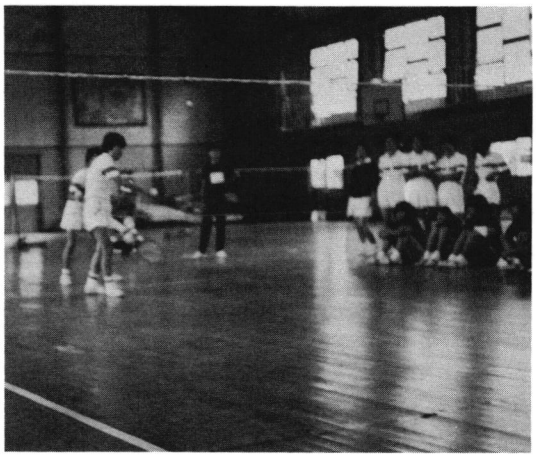
われらのクラブ㉓

千葉市の西端、習志野に近く、自然との調和が美事に図られた人口二万数千のマンモス団地、これが私たちの町です。

昭和49年春、市のバドミントン教室が終了した後有志によって同好会が結成されてから今年で5年目を迎えました。会員は現在35名（男性12名、女性23名）、団地のパパ・ママがほとんどで、適任の指導者、熱心な会員の協力によって会の運営も軌道にのり、これからますます大きく発展しようとしております。

しかし、五周年といっても決して順調にきたわけではありません。当初の一、二年ほどは会の運営の未熟、練習場難等で会員の集りが悪く、ある時は二、三名で練習したこともあり、何度かもうやめようかと考えたこともありました。こうした同好会的な運営は会員一人一人の熱意と自覚と協力なしには決して成り立たないのは当然ですが、これがなかなかむずかしい事なのです。

そして「石の上にも三年」のことわざどおり二～三年目にしてようやく会員の数もふえ、にぎやかになって楽しく練習ができるようになりました。毎週土曜、日曜の午後ラケット片手に子供を連れ、ユニホーム姿でさっそうと自転車や車で近くの学校の体育館に集り、シャトルコックのあの心地よい打音を響かせ練習に汗を流したり、或は休憩の間の話に興じたりしている会員の姿を見る時、ああ良かったという思いが胸をかすめます。





会の目的は、第一に健康の維持増進、第二に技術の向上、第三に会員相互の親睦としておりますが、目的にそって着実にその成果を挙げております。

その第一、健康の維持については、30？歳という会員の平均年齢から大きな関心事でありますが、日頃の精進のかいあってか、皆さんおおむねスマートな？人ばかりのようで、全体に若々しく（年齢のわりに）、女性の方は美人ぞろい（顔ばかりではありません）で、まさに美容と健康のために役立っているといえます。

第二の技術の向上については、かなり上達してきてはいるものの、年齢からくる肉体的ハンディもあって、ちょっとでも休むと一歩前進二歩後退の状況で、コーチをイライラさせるようです。

対外試合等には積極的に参加しており、その成績は、パパ・ママ大会優勝一回、市民大会準優勝二回、家庭婦人大会Cクラス優勝一回といったところで、さらに上位を目指し練習に精を出しているこの頃です。

第三の親睦ですが、会員相互の仲の良さはスポーツを通じてのものだけに格別で、家族ぐるみのものとなり、バドミントン一家の観があります。会の行事として忘年会、新年会、総会、夏季合宿、部内大会等盛り沢山に行っておりますが、このほか中学生のクラブとの合同練習、近くの団地クラブとの親善試合等をしたりして、楽しく、かつ練習のはげみとなるように考えております。

スポーツと酒はつきもの？でしょうか、行





事の際はいうに及ばず、対外試合の後は反省会と称し、普通の練習の後は今日は暑かったからちょっと冷たいものでもとか何とか理由をつけて、すぐ飲むことに衆議一決とあいなりますが、またその楽しさ、うまさといったらなく、「これが楽しみで練習に出ている」と口をすべらす人もいて、会の目的の第二が第一と入れ替えになるのではないかと、いささか気になります。

ともあれ、バドミントンを通して会員相互が楽しみながら自分の健康をはかり、忍耐・協力・フェア精神等スポーツの持つ良い面を学び、また人と人との心のふれ合いを持ち、それが地域社会の中で広められていくということは大変素晴らしいと思います。

これからも、バドミントンを愛する人々と、どんどん交流の輪をひろげていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

（連絡先）〒281 千葉市花見川6―12―305
伊東登貴夫

〝われらのクラブ〟原稿募集

いまやバドミントン愛好者は急増し、その数400万人以上といわれ、町のクラブは全国で500を越えるといわれています。

しかし、地域においても、まして全国的規模での横のつながりは、なかなか実現しません。

そこで、本誌では〝われらのクラブ〟という形で誌上に紹介し、それぞれの活動状況をお互いに知り、それがきっかけで交流が生まれることを望んでいます。

全国の町のクラブの皆さん、ぜひ編集部あて原稿をお送りください。すでにいくつかのクラブ同士で、交流が始まっています。

また地域のクラブに参加したいのにクラブの所在がわからなかった愛好者の人が、〝われらのクラブ〟でそれを知り、仲間に加わったということも聞いています。ふるって原稿をお寄せください。お待ちしています。

⊙400字ヅメ原稿用紙3枚～7枚
⊙必ず写真も添えてください。できれば連絡先も末尾に加えてください。
⊙宛先＝〒150 東京都渋谷区神南1―1
―1・岸記念体育会館内
バドミントン界編集部

back line バックライン。ふつうはバックバウンダリ・ラインの略称として使われている。コート最後部の横の区画線（その項参照）。テニス・コートの場合の呼び方を転用（誤用）して、ベース（base）ラインということもある。ただし、ふつう、バックラインというと、バレーボールや水球などのバックスの布陣を指すことが多いので、誤解を避けるためにも、できるだけ『バック・バウンダリ・ライン』と正しく使うことが望ましい。

backswing バックスイング。打球にさいして、予備的にラケットを引く動作。通常は正面（ネット方向）を向き、体の前にラケットを構えた姿勢（レディ・ポジション ready posision）から、飛来する打球の位置に応じて、体を左右どちらかのサイドライン方向にひねり回し、それと同時に、ラケットを後方（コートの奥の方向）に引く。体をサイドラインの方に向けた状態が〝閉じた〟状態。いわゆる〝体が開く〟というのは、ボディーの正面がネット方向を向くこと。バックスイングを大きくとる（ラケットをできるだけ後方まで引く）とそれだけフオワード・スイング（forward swing）が長くなるので、原則として飛距離が長く、力強い打球が生まれる。 ☞ stroke, fording swing

back up バックアップ。原義は『うしろから支える』で、一般には『後援する』意。スポーツ用語としては、チームメートまたはパートナー（たとえばバドミントンのダブルス）の背後等に位置し、いつでも、そのプレーを助けられるようにしていること。

badminton バドミントン。この競技の語源は英国貴族ビューフオート（またはボーフォート）公爵（Duke of Beaufort）の邸宅のあったグロスター州バドミントン村（Badminton in Gloucestershire）にちなんでいる。いわゆる〝羽根つき〟的なゲームは古くから欧州各地にあったことがわかっているが、直接、今日のバドミントン競技のもとになったものは、インドで広く行われていたプーナ（poona）という遊びである。F. メンケのスポーツ百科辞典（The Encyclopedia of Sports, by Frank G. Menke：A. S. Barnes and Co. New York）によれば1871年か72年に、インドから本国に帰任した陸軍士官が用具を持ち帰り、73年に、例のバドミントン村の邸宅でビューフォート公が催したパーティの席上、公開して見せたのが最初とされている。今日のルールのもとは1887年に、Bath（バス）バドミントン・クラブの人々の手によって作られた。英国バドミントン協会の設立は1895年、国際バドミントン連盟の発足は1939年である。 ☞ IBF, All-England Championships

balk ボーク。野球で投手が犯す反則行為と同じ言葉、バドミントンではサーブのさいのサーバーの反則行為を指している。国際バドミントン連盟の競技規則では次のように述べられている（第14条ｄ項）。

If before or during the derivery of the service any player makes preliminary feints or otherwise intentionally baulks his opponent. .（注）baulk は balk の英国式つづり）

これを日本バドミントン協会のバドミントン競技規則では以下のように表現している（第14条第4項）。

『どのプレーヤーでも、サービスの前や最中に予備的な欺変をしたり、相手を意識的に惑わしたとき。また、どのプレーヤーでも、サービスのとき、不公平な優位さを得ようとして、シャトルをサーブすることをわざと遅らせたり、シャトルをレシーブするのを、わざと遅らせたとき』

上記文中の『また』以下は英文にはありません。要するに、サーブ開始の動作がとられたこと、あるいはレシーブ態勢ができたことが明らかになった時点以後に、その動作を中断する行為の総称である。やりそうに見せかけてからやめることは、相手の集中力を乱し、フェアでないというのがその理由である。

base ベース。野球のベース（塁）や在日米軍の『基地』などでおなじみの言葉。バドミントン用語としては base of operations（ベース・オブ・オペレーションズ）つまり作戦基地の略称として使われる。主としてシングルス・プレーの場合に用いられ、この場合はコートのほぼ中央部分を指す。いい換えると、自陣コートの四つのコーナーに対して、等距離にある場所で、ここに陣取っていれば、どこにシャトルが飛んで来ても、同時間で到達できる。もし、守備上の定位置を前後、左右いずれかにずらせば、その逆サイドのコートに〝空き〟ができて、相手にねらわ れることになる。逆に表現すれば、シングルスでは、相手をベースから追い出すことが勝利へ結びつくことになるので、守りの側は、一打ごと、必ず、ベースに戻る努力を怠ってはならない。

ベースは、日本語ではむしろ home position（ホーム・ポジション）という名称で知られているが、最近の英文では『ベース』を使うことの方が多いようだ。

behind ビハインド。遅れて、あとに、などを意味する言葉で、日本語では『相手にリードされている』という意味で使られる。英語の慣用句としては、come from behind（うしろから来る）という表現があり、リードされているのをひっくり返す（逆転勝ち）の意味に広く使われている。

bench warmer ベンチウオーマー。直訳して『ベンチを暖める人』で、すなわち、補欠または控え選手のこと。コート（やグラウンド）にいるよりも、ベンチにすわっていることの方が多いことから、このような名前がついた。
☞ substitute

bend ベンド。『曲げる』意味の動詞でbend, bent, bent と変化する。特にスポーツ用語というわけではないが、バドミントンでは、ストローク動作や構えの姿勢などに関して『ヒザをよく曲げて』（deeply bend your knees）などと、ひんぱんに使われる。 <Bの項つづく>

バドミントンの用語A/B/C

後藤忠弘／編

Aの部(つづき)

anticipation アンティシペーション。ふつう「予見、予測」などと訳す。相手が次に、どんなショットを打ってくるか、あらかじめ見当をつけること。さらに、この予測を連続させ、体系だてて、相手の作戦なども推理すること。囲碁や将棋で「先を読む」というのと同じような意味。動詞はanticipate。英語ではこのほか、文字どおり「読む」(read)ともいう。

アンティシペーションは、試合の流れの中で、その時の一定の状況、相手の癖、得意、不得意などから割り出すものだから、単なる〝あてずっぽう〟ではない。相手の次に打つ手がわかれば、早くそれに対応する準備が出来、状況を自分の有利な方に変えていけるので、予見力のある、なしは勝敗に大きな関係がある。

予見力を育てるには、頭を働かせ、多くの人のプレーを観察し、また実戦を重ねることが必要。

arena アリーナ。室内競技場。多目的に使われるよう設計され、観客席を備え、競技者用のシャワーや更衣室などの設備のあるもの。同義語にgymnasium(ジムナジアム＝体育館)がある。

association アソシエーション。ふつうは「協会」と訳している。一つの共通目的をもった人々が、その目的の推進、維持、達成等のためにつくった組織。クラブ(club)よりは公的性格が強く、組織的にも大きく、またフェデレーション(federation＝連合、連盟、同盟などと訳す)よりも仲間関係が強い。バドミントンの全日本組織である日本バドミントン協会は英訳名がNippon Badminton Association、国際組織である国際バドミントン連盟はInternational Badminton Federationという。その表現の相違点に注意。

参 語源はラテン語で「仲間に加わる」の意。社会、社交(social、society)などと同根の言葉。

athlete's foot アスリーツ・フット、直訳して〝スポーツ選手の足〟。これでは何のことかわからないだろうが、実は日本人にもなじみの多い〝水虫〟のこと。スポーツ選手は、一般の人より汗をかいて、足がむれやすく、したがって水虫にもかかりやすいところから生まれた皮肉な言葉。

attack アタック。攻撃(する)の意。類語としてaggressive(アグレッシブ＝攻撃的な)、同義語としてoffense(オフェンス)反意語にdefense(ディフェンス、＝防禦)がある。例 On her serve, she became aggresive and attacked her oppnent's backhand(サーブに乗じて攻撃に転じ、相手のバックをしきりに突いた)。

Bの部

back alley バック・アレー。バドミントンコートのシングルスとダブルスの両ロング・サービス・ラインにはさまれた細長い区域。幅76cmある。

参 alley(前号にあり)および long service line

back boundary line バック・バウンダリ・ライン。バウンダリ・ラインは一般用語では、ものの境界線のこと。ここではバドミントン・コートの(コート区域とコート外を区分するための)四周の線のこと。したがって、バック・バウンダリ・ラインはコート最後部の線のことになる。この線はシングルスの場合のロング・サービス・ラインと同じことになる。

backcourt バック・コート。バドミントン・コートの一番後方(奥ともいう)の区域。白線などでとくに決められているわけではなく、だいたい、バック・アレーの部分を含み、後方1～2mぐらいを指す。『シャトルを深く入れる』というのは、このバック・コートをねらうことであり、通常、その最大の武器がクリアである。日本語では『後陣』ということが多い。参 fourcourt, frontcourt, midcourt

backhand 参 backhand stroke

backhand stroke バックハンド・ストローク。バックハンドはback of the handすなわち『手の裏側』で『手の甲』を意味する。バックハンド・ストロークはバドミントンばかりでなく、テニス、卓球にも共通する打法で、打球のさい、ラケットを握った手の甲側がネット方向を向くために、こう名付けられている。使用するラケット打面も、フォアハンド・ストロークの場合の裏側、すなわち、手の甲と同じ向きの面になる。

バックハンド・ストロークは一般には『ラケットを握った腕と反対の体の側(右利きの人なら体の左側)に飛来したシャトルを処理する打法』と説明される。常識的にはそれでよいが、実際には、逆サイドに来たシャトルはすべてがバックハンドで打ち返されるわけではない。たとえば、ラウンド・ザ・ヘッドという特殊打法があるし、回り込んでフォアハンドでとることもあるし、ネット近くで体の正面をねらわれた時には、バックハンドで返す方がつごうがよい。したがって、厳密には、バックハンド打法と、シャトルを受けるコート上の位置関係は区別して考えるべきである。

ただし、コートをタテに二分して、利き腕と逆のサイド(右利きの人なら、コートの左半分)のことは、一般に back-hand side と呼んでいる。

バックハンド・ストロークを『バックハンド』と省略して呼ぶのはよいが、単に『バック』というのは日本語の俗称であるから、英語としては使えない。同様にバックハンド・サイドのことをバックサイドと略すと『裏側』という全く別の意味になるので気をつけること。

バックハンド打法につごうのいいラケットの握り方をバックハンド・グリップという 参 グリップ

特派員だより

沖縄県協会創立20周年を記念して 全日本優秀選手模範試合開かれる

今回は、今年になってからの競技会について、今後の資料としていただくようお送りします。

沖縄県における、バドミントン競技のレベルは、全国的にみて、やはり非常に低位置にあると言わねばなりません。競技愛好者の数は、年々増加しておりますが、特に一般においては、「レクレーション」の域を出ない者が多いのです。また、報道機関に携わる人々の、バドミントン競技、用語についての知識も、おそまつとしか言えません。もう少し勉強してもらいたいものです。

協会発足20年にして、このような状態です。大学を岡山で過ごし、バドミントンを覚え、岡山で、協会の仕事や、中四国学連の仕事をやって来ただけに、なんとも言えない気分です。しかし、何事も行動なくして実現できません。現在は、協会ともはなれ、微力ですが、バドミントン競技の発展に、力を尽したいと思います。

『全日本優秀選手模範試合』

9月22日、23日の両日、全日本優秀選手による模範試合が行なわれました。これは、沖縄県バドミントン協会創立20周年を記念して行なわれたもので、土田、池田、尾崎（以上電電東京）、梶野尾（ヨネックス）、の4氏が来沖され、プレーを見せてくれました。

地元選手との交歓試合では、地力の差を見せつけ、一打一打に観客は、熱い視線をなげかけていました。日頃、全日本クラスを見る事のない人々は、再びバドミントンに、魅了された事と思います。私も、交歓試合で、単複ともやってもらいましたが、いい勉強になりました。このようなチャンスが、今後も続くよう念願します。

沖縄の半年間の動きをたどる

▼2月18日

第3回全沖縄学生バドミントン総合選手権大会が、18日午前9時から、石川高校体育館で行われた。試合は各種目とも琉大勢が強く、団体戦で男女とも三連勝したほか、各種目とも琉大勢が制した。

◇男子シングルス
1位　末次正二郎　琉大1年
2位　松川　沖大4年
3位　日高昭典　琉大4年
　　下地敏彦　琉大2年

◇男子ダブルス
1位　下地・日高　琉大
2位　末次・中島　琉大
3位　栗原・添石　琉大
　　運天・山城　沖国際大

◇女子シングルス
1位　真喜志　琉大1年
2位　狩俣　沖大2年
3位　酒井　琉大2年
　　原田　流大2年

◇女子ダブルス（リーグ戦）
1位　真喜志・津波古　琉大
2位　酒井・原田　琉大
3位　狩俣・大城　沖大
4位　当銘・渡久山　沖大

▼3月4日

第13回全沖縄バドミントン職域大会（県バドミントン協会主催）は、4日午前9時から県立奥武山体育館で行われた。大会には男子A組10、同B組21チーム、女子A組4、同B組3チームが出場して熱戦を繰り広げた。

男子A組決勝は、県庁―琉大の間で争われ、県庁の大山、日高が強力なスマッシュとドロップをビシビシ決めてストレート勝ち、二連勝した。琉大の末次、福元は、故障とスタミナ切れで、全くいいところがなかった。

男子B組は、宣野座商職A―那覇高校が決勝に進出、宣野座商職Aが、ダブルス、シングルスとも連勝して初優勝。

女子はリーグ戦が行われ、A組は登川民芸が3戦全勝、同B組は玉城商店が2戦全勝して、初の栄冠を飾った。

▼3月31日～4月1日

第6回全沖縄高校新人バドミントンシングルス選手権大会は、31日、1日、奥武山体育館で男子59人、女子一四五人が出場して行われ、決勝戦は、男子が石川高、女子は那覇高同士の対戦となり、男子は山城和信、女子は赤嶺恒子がそれぞれ初優勝した。

◇男子準決勝

山城2	15	15			
比嘉2	15	9	15	10	0本永
比嘉2	18	15			
棚原	16	4			0棚原

◇同決勝

山城2	15	15	15		
比嘉	3	3	17		1比嘉

スタミナでまさる山城が決勝した。山城は1ゲーム目12―7までリードしながら、レシーブミスも重なり落とした。しかし2ゲーム目になると、山城はフットワークをいかし、左右にシャトルを散らすなど、比嘉の疲れを誘った。動きの止まった比嘉に対し山城は、スマッシュ、フェイント攻撃などをかけ、またたく間に2、3ゲームを取った。

◇女子準決勝

赤嶺2	11	11	10		
花城	8	2	12		1花城

与那覇 2（11—5 / 11—12 / 11—8）1 城間

◇同決勝

赤嶺 2（11—3 / 11—6）0 与那覇

サーブレーシーブスマッシュに力強さをみせた赤嶺が圧勝した。赤嶺は第1ゲームから与那覇の動きを見て、フェイント、スマッシュと多彩な攻め。2ゲーム目になると、勢いに乗った赤嶺は、スマッシュにいちだんと威力を見せた。一方、与那覇は防戦に回るのがやっとだった。スピードの違いが勝敗の分かれ目だった。

▼4月8日

第16回稲福杯バドミントン大会は、8日午前9時から奥武山体育館で、男子A組12、同B組21、女子A組11、同B組15チームが出場して熱戦を繰り広げた。

男子A組決勝は有朋会—琉大が対決、有朋会はダブルスを落としたものの、シングルスを連取して逆転優勝。B組は那覇高が沖縄会員権信販に2—0で快勝した。

女子A組は、登川民芸品店と沖国大OGで決勝。登川が2—0のストレート勝ち。同B組も登川民芸品店が有朋会と接戦の末、勝ち、A、Bとも初優勝した。

この稲福杯は、沖縄県バドミントン協会会長である稲福氏の名をもらったもので、一複二単の団体戦で争われる。

▼4月13～15日

日本女子バドミントン界のトップ、サントリーバドミントンチームが、13日午後零時40分に空路来沖、14・15の両日、県内のバドミントン選手、愛好者に指導を行う。一行は山本次生監督以下14人。空港には県バドミントン協会の沖村寛市理事長ら関係者が出迎えた。日本の現役トップ選手が10人も来沖したのは初めて。

〝はばたけ太陽鳥 サントリー〟を合言葉に、日本女子バドミントン界の名門、サントリーバドミントンチームによる講習会初日は、14日午後3時から石川高校体育館で宣野座、石川高校など約三百人のバドミントン選手、愛好者を集めて行われた。

サントリーチームの山本監督は講習会に先立ち、「バドミントンは、走って持久力をつけるだけではダメだ。それと並行させ、バーベルなどを使い筋力もつけなければならない」と話した。参加した選手たちは、熱心に話を聞き、うまくなろうと必死の表情。

講習会は約20分ぐらい柔軟体操をしたあと、サントリーチーム同士による、ダブルス2回、シングルス1回の模範試合をした。そのあと、6コートに分かれ、サントリーの選手が分散、スマッシュの打ち方、体の姿勢など逐一指導した。

日本の代表選手が大部分というサントリーチームのシャトルの扱いは、心にくいほどのうまさ。高校生たちは頭を振り振り、元気いっぱいにプレーした。

サントリーチーム同士による模範試合で目についたことは、相手の動きを見て、瞬間的にフェイント、スマッシュ攻撃、さらにコートのすみにシャトルを打ち込むなど、判断力は天下一品。

▼4月29日

第20回全沖縄総合バドミントンシングルス選手権大会（県バドミントン協会、琉球新報社主催）最終日の29日は、午前10時から、石川高校体育館で男女の準々決勝から決勝戦までが行われた。

男子は大山（有朋会）—泉（那覇高OB）で覇を競い、スタミナとドロップに威力を見せた大山が2—0で圧勝、初優勝した。

女子は宮里（那覇クラブ）—儀間（シェル石油）のベテラン同士の顔合わせ、ハイクリア、ドリブンクリアの切れの良さで、宮里が昨年の覇者、儀間を2—1で下し、3年ぶり3度目の優勝を成し遂げた。

男女高校勢は、一般、大学勢のシャトルはこびのうまさの前に破れ、一人もベスト4入りは果たせなかった。この日は、約百人のバドミントンファンが観戦、競技人口の広がりを見せた。

◇男子準決勝

大山 2（15—5 / 15—12）0 末次（有朋会）（琉大）

泉（那覇高OB）2（15—11 / 10—15 / 14—5）1 新屋（琉大職）

◇同決勝

大山 2（15—11 / 15—2）0 泉

体力、気力にまさる大山が圧勝した。大山は第1ゲーム6—9まで先取されたが、急に疲れを見せ、足が止まった泉を、ドロップ攻撃で攻め、15—11でものにした。2ゲーム目に入ると泉の足は完全にストップ。これに対し、大山はスマッシュ、ハイクリアと一人舞台、これだけ力が違うと、試合内容も幾分味けなく感じた。

◇女子準決勝

儀間（シェル石油）2（11—7 / 11—1）0 狩俣（沖大）

宮里（那覇クラブ）2（12—10 / 6—11 / 11—4）1 真嘉志（琉大）

気力とスタミナでまさった宮里が快勝した。宮里は第1ゲーム、レシーブにあまさを見せ、4—10までもっていかれ、そのまま押しきられてしまうかに見えた。しかし、今大会ねらっていたというだけあって、粘り抜き、9—11まで持ち込み、簡単には1ゲームを渡さなかった。2ゲーム目に入ると、疲れが出て動きが鈍くなった儀間に対し、ドリブンクリア、ハイクリアと儀間を左右に揺さぶり、疲れを倍加させ、2・3ゲームと一気に押しきった。

（以上琉球新報より）

沖縄県特派員　泉健司

TOKYO LETTER

by Miwako Wakazono & Carolyn Nakamura

The weather has turned brisk and the number of sweater-clad people on the streets is increasing every day. Of the four seasons, autumn is especially beatiful in Japan.

The clear, blue sky seems to have no limit and without a doubt, the weather is perfect. The leaves of the trees have been magnificently dyed red and yellow. Needless to say, the best time of the year to travel is right now.

In such idealweather, the 30th All-Japan Intercollegiate Badminton Championships were held for six days from October 22-27. This intercollegiate tournament is the biggest of all the student tournament sheld. From Hokkaido in the north to Kyushu in the south, about 100 men's and women's colleges and universities participated in this tournament.

The site of the tournament changes every year, and this year Kyoto, the historical capital with its many temples and places of natural beauty and historic interest, was chosen.

This year marked the thirtieth tournament since its organization. The first intercollegiate tournament was held in 1950 on November 24. The Korean War had started in June of that year and it was a time of great upheaval. Japan was at that time still under American military occupation and GI's could be seen everywhere.

The participants in this year's tournament, of course, were not even born then and it was something that happened a long time ago.

Unlike the present, that first tournament was of a much smaller scale. Held for only two days, there were fourteen participating schools with about eighty players. Wooden rackets were used then, a far cry from the steel and carbon graphite rackets that are used tobay.

There is a great difference in price also, with rackets costing about 500 yen at that time while they range from 8000 to 10,000 yen today. The extent to which things have changed in the past thirty years is quite incredible!

Putting history aside, the players this year competed for championship cups in six events, the men's and women's team matches, men's and women's singles, and men's doubles.

To carry out this schedule within a six-day period is quite a feat.

In the men's singles, for example, a player must win seven times in order to become champion. Heated battles were fought day after day, but H. Sakamoto, playing superbly, finally won the laurels.

In spite of his small build, he has a lot fight with strength and guts comparable to none. Sakamoto will be graduating next spring and this victory was undoubtedly the most memorable event of his four year college badminton career.

H. Ishida captured the women's singles championship.

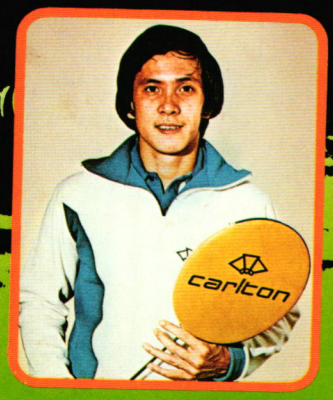
A talented and capable player, she also represented Japan at the All-England Badminton Championships. With her victory last year, Ishida has basked in glory in the intercollegiate champion's seat for two consecutive years.

In this way, the curtain fell on the 30th All-Japan Intercollegiate Badminton Championships after six days. We are looking forward to next year's tournament, wondering where it will be held and who the heroes and heroines will be.

carlton
That's the name of the game

世界無敵のパートナー！

リム・スィー・キングとカールトン。



Liem Swie King（インドネシア）

男子シングル世界ランキング1位
'78全英選手権男子シングル優勝
'78アジア大会男子シングル優勝
'79ワールドカップ男子シングル優勝

なんと100g以下という、記録破りの超軽量ラケットです。フレームは特殊アルミ合金、シャフトはフルカーボン。軽さが世界記録なら、そのパワーの凄さもいわば世界記録。まさにヨネックスならではのもの。いま世界は、このヒーローに沸いている。

FULL CARBON SHAFT RACKET

B-8500 Carbonex8

カーボネックス・エイト
フルカーボンシャフト

色……イエロー・オレンジ・グリーン

重量表示……U(100g～95g)・2-U(95g～90g)

YONEX®

